2019年度

神 奈 川 県 病 院 協 会 会 務 及 び 事 業 報 告

公益社団法人 神奈川県病院協会

目 次

2	O 1 9 年度概況	
	一般会務関係	1
	事業関係 ······	2
		_
T	60 A 2600 F	
I	一般会務関係	
	1. 会員数に関する件	5
	2. 役員等に関する件	7
	3. 会議に関する件	9
	4. 部内委員会に関する件	23
	5. 部外審議会等に関する件	24
	6. 総務・経理に関する件	28
	7. 行政・政党・医療関係団体との意見交換・懇談に関する件	38
	8. 褒賞等に関する件	38
Π	事業関係	
**		
	1. 総務経理・褒賞委員会	
	2. 地域保健医療対策委員会	
	2-1. 地域医療対策事業	
	3. 学術委員会	
	4. 教育研修委員会	
	5. 調査委員会	~-
	6. 保険医療対策委員会	62
	6-1. 医事研究部会	63
	7. 救急・防災対策委員会	65
	8. 病院従事者対策委員会	66
	9. 医療安全対策委員会	67
	10. 広報委員会	68
	11. 厚生福祉委員会	69
	12. 病院経営対策委員会	71
	13. 高齢者医療対策委員会	71
	14. 精神保健対策委員会	72
	15. 事務長部会	73

16. 看護職者賠償責任保険団体制度の運営 ……………………… 77

2019年度 一般会務関係 概況

会員について

・2020年3月31日の会員数285 ※I (II 会員数に関する件)

経営主体内訳 ※2:国8 公33 社保関係6 公益法人7 医療法人193 その他38]

- ※1 2020年3月31日付で退会の北里大学東病院を含む数
- ※2 経営主体の区分は、厚生労働省 医療施設調査の開設者分類を参考としている
- ・組織率は約84%

主な取り組み

1 **総会の開催**(I3 会議に関する件)

第94回定時総会

審議事項・・平成30年度会務及び事業報告、平成30年度決算、役員選任

第95回総会

審議事項・・2020 年度事業計画案、2020 年度収支予算案他

2 理事会等の開催(I3 会議に関する件)

理事会11回(臨時理事会含む)・常任理事会7回・三役会議16回

- 3 部外審議会等の委員就任(I5 部外審議会等に関する件) 行政及び関係団体所管の審議会、委員会等への推薦委員 延べ129名
- 4 要望活動・意見の提出(I6 総務・経理に関する件 他)
 - ・令和2年度の国と神奈川県の予算編成に対する要望
 - ・神奈川県の施策などに関する意見
 - ・新型コロナウイルス感染症関係
 - ① 医療資材の確保及び看護師ローテ等病院の医療提供体制への影響調査
 - ② 上記調査に基づく意見と情報発信(県及び国(厚生労働省)、日本病院会等)
 - ③ 新型コロナウイルス感染症拡大による医療崩壊を防ぐための会議(3月27日)での意見表明(医療崩壊を防ぐための神奈川モデルに対する意見)

2019年度 事業関係 概況

主な取り組み

I 公益目的事業

「地域医療の充実と、県民の医療・保健・福祉及び健康の増進を図る」という、当協会の目的達成のため、国・県などの行政機関や関係団体と連携・協力し、様々な事業を展開した。

1 公衆衛生及び地域医療の推進に関する事業

- (1) 関係団体等との連携協力
 - ① 医療関連通知・情報の提供
 - → 県健康医療局、関東信越厚生局神奈川事務所(厚生労働省)他からの通知等を 会員にメールとホームページ等で周知(II2 地域医療対策委員会)
 - ・迷惑メールの影響により、メールによる周知は12月15日迄。 以降、ホームページ(1月6日 リニューアル)とFAXで周知を行った。

② 国・県及び医療関係団体等との連携

- ア 地区病院協会長会議(Ⅱ2 地域医療対策委員会)
- イ 県医師会との意見交換会(Ⅱ2 地域医療対策委員会)
- ウ 県医療課との意見交換会(Ⅱ2-1 地域医療対策事業)
- 工 県医療関係団体連絡協議会 (II8 病院従事者対策委員会)
- オ 県看護協会との意見交換会 (II8 病院従事者対策委員会)
- カ 県民集会「国民医療を守るための神奈川県総決起大会」(II2 地域医療対策委員会)

③ 一般県民を対象とした講演会の開催

・ 県民公開講座「認知症のお話」(Ⅱ13 高齢者医療対策委員会) → 163 名が参加

(2)課題への対応

- ① 地域医療構想への対応 (Ⅱ2-1 地域医療対策事業)
 - ・病床機能分化・連携促進事業(神奈川県受託事業)

- → 目的:地域医療構想区域における病院等医療機関、医療関係者の連携等促進 支援対象:地区病院協会 支援限度額:上限40万円 事業総額 約196万円(受託料総額約180万円 残りは当協会負担)
- (2) 医師確保に関する対応(II2-1 地域医療対策事業)
 - ・地域医療支援センター運営委員会事業への参画
- ③ 新専門医制度への対応 (Ⅱ2-1 地域医療対策事業)
 - ・県医療対策協議会 専門研修ワーキンググループへの参画
- ④ 医療ツーリズムに関する対応 (II2-1 地域医療対策事業)
 - ・県が設置した検討会において検討を重ね、2020年3月に「神奈川県保健医療計画推進会議 医療ツーリズムと地域医療との調和に関する検討会 報告書 ―医療ツーリズムと地域医療との調和に向けて―」として取りまとめた。
- (5) 新型コロナウイルス感染症への対応 (II2-1 地域医療対策事業)
 - ア 対処方針の策定(2月19日)
 - → 対策本部の設置、新型インフルエンザ等対策業務計画を準用し対応
 - イ 対策本部会議の開催
 - ウ 医療資材の確保及び看護師ローテ等病院の医療提供体制への影響調査
 - → 調査依頼 2月28日 (締切3月2日)、回答数194 (67.8%) 結果は、神奈川県及び国 (厚生労働省)、日本病院会等に情報提供
 - 工 意見交換
 - → 県健康医療局との意見交換、地区病院協会との意見交換会
 - オ 県の施策に対する意見
 - ①「コロナ関係ポータルサイト開設にあたっての意見」(3月11日)
 - ②「医療崩壊を防ぐための神奈川モデルに対する意見」(3月27日)
 - カ 会員への周知・情報提供
 - → ホームページで随時提供するほか、必要に応じてFAXで周知した。

2 病院医療の向上に関する事業

- ① 神奈川県病院学会の開催(II3 学術委員会)
 - → 関係団体とともに企画運営。テーマは「病院の働き方改革 Part2」。 213名が参加。(演題数・・口演発表 30 演題、ポスター発表 22 演題)
- ② 働き方改革への対応(Ⅱ2-8 病院従事者対策事業)
 - ・医療従事者の勤務環境改善のための研修会及び宿日直・研鑽関係通知説明会の 開催(県健康医療局、神奈川労働局、県医師会と共催) → 187名参加

Ⅱ 公益目的事業以外の事業

- ① 事務長等表彰事業〔会長表彰〕(II1 総務経理・褒賞委員会) → 4 名表彰
- ② 病院管理研修の開催 (II4 教育研修委員会) → 延べ 258 名参加
- ③ 診療報酬請求事務等に関する研修 2回開催 (Ⅱ6-1 医事研究部会) → 計210名参加
- ④ 会報誌の発行(II10 広報委員会) → 3月発行
- ⑤ スポーツ大会〔野球・バレーボール・ボウリング〕の開催(Ⅱ11 厚生福祉委員会)
 - → 延べ 633 名参加

- ⑥ 事務長部会実施事業(Ⅱ15 事務長部会)
 - ・調査(事務当直者について)の実施
 - ・医業経営セミナー (テーマ: 働き方改革、看護・介護の人材確保) の開催
 - → 121 名参加

Ⅲ 収益事業

① 看護職者賠償責任保険団体制度(加入病院数 113病院/加入者数 6,696人)

I 一般会務関係

1 会員数に関する件

(1) 正会員

2019 年度の入会は 2、退会は 1 で、2020 年 3 月 31 日現在における正会員数は 285 である。 (2020 年 3 月 31 日付で退会の北里大学東病院を含む数)

ア 入会(①会員名 ②開設者 ③所在地 ④許可病床数 ⑤入会日)

- 横浜鶴見リハビリテーション病院

(①新江 良一 ②医療法人社団協友会 ③横浜市鶴見区下野谷町 4-145-1 ④228 床 ⑤2019 年 4 月 1 日)

· 大和徳洲会病院

(①川本 瀧成 ②医療法人徳洲会 ③大和市中央4-4-12 ④248 床 ⑤2019 年 9 月 1 日))

イ 退会

· 梨本病院 2020 年 3 月 11 日付退会

(2) 賛助会員

2019年度の入会は0、退会は0で、令和2年3月31日現在における賛助会員数は6である。

(3) 正会昌地区別内訳

(3)	止云貝	النزركات	NAW.									
地	区別	病院数	正会員	郡市区 内訳	病院数	正会員	郡市区 内訳	病院数	正会員	郡市区 内訳	病院数 7 3 13 5 11 2 3 5 17 2	正会員
	내수호파	F-1	43	鶴見区	14	14	神奈川区	9	8	港北区	7	4
+4±	北部	51	4-5	緑区	8	6	青葉区	10	8	都筑区	3	3
横 浜	西部	47	38	西区	4	4	保土ケ谷区	7	7	旭区	13	9
<u>ж</u> Ж	l 더마	47	30	戸塚区	13	11	泉区	5	3	瀬谷区	5	4
X	去 坎7	0.5	31	中区	6	6	南区	5	5	港南区	11	8
	南部	35	31	磯子区	4	4	金沢区	7	7	栄区	2	1
1 i felia	たよし立の	20	16	高津区	5	5	宮前区	4	4	多摩区	3	2
) ([46]	하北部	20	10	麻生区	8	5						
川 崎	南部	19	18	川崎区	10	9	幸区	4	4 中原区		5	5
相	模 原	36	33	緑区	11	9	中央区	8	8	南区	17	16
横	 須賀	29	21	横須賀市	12	8	鎌倉市	12	9	逗子市	2	2
• ,	三浦	29	21	三浦市	2	2	三浦郡	1	0			
湘南	東部	24	21	藤沢市	15	13	茅ケ崎市	7	6	高座郡	2	2
ਮਸਜ਼	नसर्था	99	19	平塚市	9	9	秦野市	9	6	伊勢原市	3	3
消料书	西部	22	19	中郡	1	1						
県	央	33	26	厚木市	12	9	大和市	10	6	海老名市	4	4
乐	**	- JJ	20	座間市	4	4	綾瀬市	1	1	愛甲郡	2	2
ije		23	19	小田原市	13	10	南足柄市	2	2	足柄上郡	4	3
県	西	<i>4</i> 3	פו	足柄下郡	4	4					•	
合	計	339	285	※ 横浜は医	療圏か	<u></u> つと;	なりましたが、従	前どお	りの地	区に分けています。	,	

(4) 地区別経営主体別正会員数

経営				国		<u> </u>			公(4	《立》	とびな	的医	療機	関)	_	神輿	生 (社)係団	上保 体)	益	医			その	の他			
上 体 ※1	厚	独立	国	独 立	国立	独立	そ	都	市	地	B	済	北	厚	国民	健康	共済	国	公	医	私	社	医	会	そ	個	
	生	行政	立	行政法	高度専	行政法-		ļ ,,,		方独			海道		健康	保険の	組合	民健	→	o sta	立	숲	يد		Ø		
	労	法人	大	人労働	門 医	人地域医	o	道	町	立		生	社会	生	保険	組合及	及び	康	益	療	学	福	療		他		計
	fect.	国立病	学	者健康	療研究	と療機能		府		行政	.	•	事		団体	びその	その	保険	法	法	校	祉	生		の		
地区	働	院機	法	福祉機	センタ	推進機				法			業協		連合	の連合	連合	組			法	法			法		
	省	構	人	構	1	構	他	県	村	人	赤	숲	슾	連	会	슾	会	合	人	人	人	٨	協	社	人	人	
横浜 北部 ※2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	30	4	0	0	0	1	2	43
横浜 西部 ※2	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	26	1	2	1	0	2	0	38
横浜 南部 ※2	0	0	0	0	0	1	0	0	2	5	0	2	0	0	0	0	2	0	2	16	0	0	0	0	1	0	31
川崎 北部	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	11	2	0	0	0	1	0	16
川崎南部	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	2	0	1	0	0	0	18
相模原	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	22	2	1	1	0	0	2	33
横須賀 ・三浦	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	11	1	4	0	0	1	0	21
湘南 東部	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	2	1	21
湘南西部	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	12	2	0	0	0	0	0	19
県央	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	26
県西	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14	0	0	0	0	1	0	19
合計 ※1 経営	0	2	0	2	0	4	0	1	15	7	2	6	0	2	0	1	5	0	7	193 りの地	14	7	3	0	9	5	285

^{※1} 経営主体の区分は厚生労働省 医療施設調査の開設者分類を参考とした ※2 横浜は従前どおりの地区区分とした

(5)病床数別病院数

病	床	数	20~49	50~99	100~149	150~199	200~299	300~399	400以上
病	院	数	18	54	35	51	49	34	44

2 役員等に関する件

2019年4月1日から2020年3月31日までの当協会役員等は次のとおりである。

(1)役員等名簿

職名	氏 名	施設名	Ŧ	所在地	電話番号	備考
会 長	新江 良一	横浜鶴見リハビリテーション病院	230-0047	横浜市鶴見区下野谷町 4-145-1	045 (503) 2000	
副会長	吉田勝明	横浜相原病院	246-0026	横浜市瀬谷区阿久和南 2-3-12	045 (362) 7111	
"	数野 隆人	藤沢脳神経外科病院	251-0032	藤沢市片瀬 2-15-36	0466 (27) 1511	
ı,	窪倉 孝道	汐田総合病院	230-0001	横浜市鶴見区矢向 1-6-20	045 (574) 1011	
l II	長堀 薫	横須賀共済病院	238-8558	横須賀市米が浜通1-16	046 (822) 2710	:
常任理事	長倉 靖彦	横浜掖済会病院	231-0036	横浜市中区山田町 1-2	045 (261) 8191	
11	沼田 裕一	横須賀市立うわまち病院	238 -8 567	横須賀市上町2-36	046 (823) 2630	
"	高野靖悟	相模原協同病院	252-5188	相模原市緑区橋本2-8-18	042 (772) 4291	
"	新納憲司	大口東総合病院	221-0014	横浜市神奈川区入江2-19-1	045 (401) 2411	
II.	松井住仁	長田病院	233-0013	横浜市港南区丸山台 2-2-10	045 (842) 1121	
n	南 康平	丹羽病院	250-0042	小田原市荻窪 406	0465 (34) 3444	
"	小松 幹一郎	小松会病院	252-0325	相模原市南区新疆野2337	042 (744) 6731	
"	高原和享	湘陽かしわ台病院	243-0402	海老名市柏ヶ谷 584-2	046 (292) 5800	
"	松島 誠	松島病院	220-0041	横浜市西区戸部本町19-11	045 (321) 7311	
H	太田史一	太田総合病院	210-0024	川崎市川崎区日進町1-50	044 (244) 0131	
H	三角隆彦	済生会横浜市東部病院	230-0012	横浜市鶴見区下末吉3-6-1	045 (576) 3000	
11	中沢 明紀	神奈川県立循環器呼吸器病センター	236-0051	横浜市金沢区富岡東 6-16-1	045 (701) 9581	2020, 3, 31 退任
11	菅 泰博	麻生総合病院	215-0021	川崎市麻生区上麻生 6-25-1	044 (987) 2522	
"	篠原 裕希	クローバーホスピタル	251-0025	藤沢市鵠沼石上3-3-6	0466(22)7111	
JJ	鈴木 龍太	鶴巻温泉病院	257-0001	秦野市鶴巻北1-16-1	0463 (78) 1311	
理事	宮川政久	宮川病院	210-0802	川崎市川崎区大師駅前 2-13-13	044 (222) 3255	
H	角野 禎子	青木病院	249-0005	逗子市绥山6-1336	046 (873) 6555	
"	澤井 博司	青葉さわい病院	225-0004	横浜市青葉区元石川町 4300	045 (901) 0025	
n	今井 重信	湘南中央病院	251-0056	藤沢市羽鳥 1-3-43	0466 (36) 8151	
"	鳴海裕之	寒川病院	253-0106	高座郡寒川町宮山 193	0467 (75) 6680	
"	徳田 博正	徳田病院	230-0061	横浜市鶴見区佃野町29-3	045 (571) 3933	
"	土屋敦	渕野辺総合病院	252-0206	相模原市中央区淵野辺 3-2-8	042 (754) 2222	
11	平元 周	横浜総合病院	225-0025	横浜市青葉区鉄町 2201-	045 (902) 0001	
"	細川 治	横浜栄共済病院	247-8581	横浜市栄区桂町 132	044 (891) 2171	

職名	氏 名	施設名	₸	所在地	電話番号	備考
理 事	内海 通	総合新川橋病院	210-0013	川崎市川崎区新川通 1-15	044 (222) 2111	
l n	峰野 元明	ふれあい鎌倉ホスピタル	248-0012	鎌倉市御成町9-5	0467 (23) 1111	2020. 3. 31 退任
l n	山下巌	東名厚木病院	243-8571	厚木市船子 232	046 (229) 1771	
l n	小澤 幸弘	三浦市立病院	238-0222	三浦市岬陽町4-33	046 (882) 2111	
"	池島 秀明	湘南泉病院	245-0009	横浜市泉区新橋町1784	045 (812) 2288	
"	石原 淳	横浜市立市民病院	240-8555	横浜市保土ケ谷区岡沢町 56	045 (331) 1961	
ı,	金井 歳雄	川崎市立川崎病院	210-0013	川崎市川崎区新川通 12-1	044 (233) 5521	
"	杉山 肇	神奈川リハビリテーション病院	243-0121	厚木市七沢 516	046 (249) 2503	
<i>II</i> .	牧田 浩行	神奈川県立足柄上病院	258-0003	足柄上郡松田町松田惣領866-1	0465 (83) 0351	
n	八十川 要平	相模原赤十字病院	252-0157	相模原市緑区中野 256	042 (784) 1101	2020. 3. 31 退任
n,	相原道子	横浜市立大学附属病院	236-0004	横浜市金沢区福浦 3-9	045 (787) 2800	2020.3.31 退任
"	井上 元保	伊勢原協同病院	259-1187	伊勢原市田中345	0463 (94) 2111	
"	北川博昭	聖マリアンナ医科大学病院	2 16- 8511	川崎市宮前区菅生2-16-1	044 (977) 8111	2020. 3. 31 退任
ıı ıı	髙橋 寛	昭和大学藤が丘病院	227-8501	横浜市青葉区藤が丘1-30	045 (971) 1151	
11	中野太郎	相模原中央病院	252-0236	相模原市中央区富士見 6-4-20	042 (754) 2211	
"	山口 哲顕	港北病院	240-0053	横浜市保土ヶ谷区新井町 486	045 (381) 0180	
"	山田健一朗	平塚市民病院	254-0065	平塚市南原 1-19-1	0463 (32) 0015	
"	山本裕司	藤沢湘南台病院	252-0802	藤沢市高倉 2345	0466 (44) 1451	
監事	荒井 政明	ワシン坂病院	231-0862	横浜市中区山手町 169	045 (623) 7688	
n,	小川 健二	日本鋼管病院	210-0852	川崎市川崎区鋼管通 1-2-1	044 (333) 5591	
n	石渡 宏道	税理士法人アイ・パートナーズ	230-0051	横浜市鶴見区鶴見中央2-13-18	045 (503) 2841	
顧問	菊岡 正和	神奈川県医師会	231-0037	横浜市中区富士見町 3-1	045 (241) 7000	
II	市川喜久江	神奈川県健康医療局	231-8588	横浜市中区日本大通1	045 (210) 1111	
"	近藤 脩	仁厚会病院	243-0018	厚木市中町3-8-11	046 (221) 3330	
顧問兼参与	別所 隆	日本鋼管病院	210-0852	川崎市川崎区鋼管通 1-2-1	044 (333) 5591	
11	遠山 愼一	横浜保土ヶ谷中央病院	240-8585	横浜市保土ヶ谷区釜台町43-1	045 (331) 1251	
n	玉井 拙夫	神奈川県予防医学協会	231-0021	横浜市中区日本大通58	045 (641) 8501	
11	永井 孝三	京浜総合病院	211-0044	川崎市中原区新城1-2-5	044 (777) 3251	
"	仙賀 裕	茅ヶ崎市立病院・日本病院会	253-0042	茅ヶ崎市本村 5-15-1	0467 (52) 1111	
参 与	荒木 洋	古川病院	221-0021	横浜市神奈川区子安通2-286	045 (441) 3366	

任期 2019年6月21日~2021年6月の定時総会終結時

(2)役員等の数(2020年3月31日現在)

			- •						
会 長	副会長	常任理事	理事	監事	顧問	顧問兼参与	参与	合計	
1	4	15	27	3	3	5	1	59	ĺ

3 会議に関する件

(1) 総会

ア 第94回定時総会(議事録)

- 1 開催日時 2019年6月19日(水)午後4時
- 2 開催場所 横浜ベイシェラトンホテル 横浜市西区北幸1-3-23
- 3 総正会員数 285名
- 4 出席正会員数 51名 委任状出席 128名 議決権総数 179名
- 5 出席役員

出席理事

宮川 政久 (議長兼議事録作成者)

新江 良一 吉田 勝明 数野 隆人 薫 沼田 裕一 窪倉 孝道 長堀 新納 憲司 松井 住仁 南 康平 小松幹一郎 高原 和享 松島 誠 太田 史一 中沢 明紀 菅 泰博 角野 禎子 長倉 靖彦 澤井 博司 鳴海 裕之 徳田 博正 土屋 敦 治内海 平元 周 細川 涌 峰野 元明 池島 秀明 金井 歳雄 肇 鈴木 龍太 篠原 裕希 杉山 牧田 浩行 八十川要平

出席監事

永井 孝三 荒井 政明 石渡 宏道

6 議事概要

開会

初めに、小松幹一郎 総務担当常任理事 から開会を宣言

会長挨拶

新江 良一 会長から挨拶

議長・副議長選出

定款16条に基づき、出席した正会員の中から議長・副議長の選出にあたり、司会者より意見を求めたところ、全員の賛成により司会者に一任され、議長に宮川 政久氏、

副議長に土屋 敦氏が選出された。

総会の成立

続いて、議長・副議長より挨拶の後、議 長から出席者の報告があり、正会員総数 285名中、51名の出席、欠席正会員128名 からは委任状が提出されており、議決権総 数は179名のため、定款第17条に基づき、 総会開催の定数である総正会員数の過半数 を満たし、成立している旨を宣した。

議事録署名人の選出

定款第21条に基づき、出席した正会員から議事録署名人2名以上の選出にあたり、議長より意見を求め、議事録署名人には角野 禎子氏と、池島 秀明氏の2名が選出された。

議案審議

報告事項

平成30年度会務及び事業報告の件

平成30年度(自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)における会務及び事 業報告について、議長の指名により、小松 総務担当常任理事が書類(平成30年度会 務及び事業報告)を詳細に報告した。

承認事項

第1号議案 平成30年度決算の承認の件

平成30年度(自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)における決算について、議長の指名により、松島 誠経理担当常任 理事が書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録)を詳細に説明した。

続いて、議長の指名により、永井 孝三監 事が事業報告及びその附属明細書及び計算書 類並びに財産目録について監査の結果、理事 の業務執行は適正に行われている旨説明した。 議長から、報告事項及び第1号議案について、 会員からの発言を求めた。会員から発言はな く採決となる。

議長から、第1号議案について、その承認を 挙手にて求め、また、委任状には否とするもの はないことを確認した。

その結果、過半数の賛成を得ることができ、 承認可決した。

第2号議案 役員選任の件

議長の指名により、邊見 仁選挙管理委員 長から選挙管理に関する報告があり、立候補 について、理事は定数47名のところ47名の 届出、監事は定数3名のところ3名の届出で、 理事候補者及び監事候補者は定数と同数で あることを説明した。

続いて、小松総務担当常任理事から、書類 (平成30年役員選挙 当選人名簿)を詳細に 説明し、2019年度第2回理事会で協議の結果、 役員選挙規程第13条に基づき全員を当選人 と決定したため、役員の選任について、定時 総会に上程した旨を説明した。

議長から、第2号議案について、会員から の発言を求めた。会員から発言はなく採決と なる。

初めに、議長から第2号議案について、候 補者全員を一括審議することについてその 承認を挙手にて求め、過半数の賛成を得た。 続いて、議長から第2号議案について、そ の承認を挙手にて求め、また、委任状には否 とするものはないことを確認した。

その結果、過半数の賛成により、原案のと おり決議した。

また、選任者全員が就任承諾書を提出され、 即時就任を承諾した。

選任された理事(47名)

新江 良一 吉田 勝明 数野 隆人 窪倉 孝道 長堀 薫 沼田 裕一 高野 靖悟 新納 憲司 松井 住仁 南 康平 小松幹一郎 高原 和享 松島 誠 太田 史一 三角 隆彦 中沢 明紀 菅 泰博 宮川 政久

角野 禎子 長倉 靖彦 澤井 博司 今井 重信 鳴海 裕之 徳田 博正 土屋 敦 平元 周 細川 沿 内海 通 峰野 元明 山下 巌 小澤 幸弘 池島 秀明 石原 淳 金井 歳雄 篠原 裕希 杉山 肇 鈴木 龍太 牧田 浩行 八十川要平 相原 道子 井上 元保 北川 博昭 髙橋 寛 中野 太郎 山口 哲顕 山田健一朗 山本 裕司 選任された監事 (3名)

荒井 政明 小川 健二 石渡 宏道

開会

新江会長から挨拶の後、小松総務担当常任 理事より閉会を宣言。

午後4時35分に閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録 を作成し、議長、副議長、議事録署名人がこ れに記名押印する。

2019年6月19日

公益社団法人神奈川県病院協会定時総会

議 長 宮川 政久 副議長 土屋 敦 議事録署名人 角野 禎子 議事録署名人 池島秀明

イ 第95回総会(議事録)

1 開催日時

2020年3月18日(水)午後3時30分

2 開催場所

神奈川県総合医療会館7階講堂 横浜市中区富士見町3-1

3 総正会員数 286名

4 出席正会員数 34名 委任状出席 171名 議決権総数 205名

5 出席理事

宮川 政久 (議長兼議事録作成者)

新江良一吉田勝明数野隆人 窪倉 孝道 長堀 薫 長倉 靖彦 沼田 裕一 新納 憲司 松井 住仁 康平 小松幹一郎 高原 和享 南 誠 太田 史一 三角 隆彦 松島 中沢 明紀 菅 泰博 篠原 裕希 鈴木 龍太 角野 禎子 今井 重信 敦内海 通 峰野 元明 土屋 小澤 幸弘 池島 秀明 石原 淳 金井 歳雄 山口 哲顕 山本 裕司 出席監事

小川 健二 石渡 宏道

6 議事概要

開会

初めに、三角 隆彦 総務担当理事より開会を宣言。続いて、新江 良一 代表理事から挨拶があった。

議長・副議長の選出

定款16条に基づき、出席した正会員の中から議長・副議長の選出にあたり、司会者より意見を求めたところ、全員の賛成により司会者に一任され、宮川 政久氏が議長に、土屋 敦氏が副議長に選出された。

総会の成立

続いて、議長・副議長より挨拶の後、議 長より、本日の出席者の報告があり、正会 員総数 286 名中、34 名の出席、欠席正会員 171 名からは委任状が提出されており、議 決権総数は 205 名のため、本会の定款 17 条に基づき、過半数に達し成立している旨 報告した。

議事録署名人の選任

定款21条に基づき、出席した正会員の中から議事録署名人2名以上の選出にあたり、議長より意見を求めたところ、議事録署名人に角野 禎子氏と池島 秀明氏の2名が選任された。

審議事項

第1号議案 2020 年度事業計画案の件 議長の指名により、三角 隆彦 総務担当 理事から、2020 年度(自2020年4月1日 至 2021年3月31日) における事業計画案に ついて、下記の書類を提出して詳細に説明 した。

議長から第1号議案について、その承認 を挙手にて求め、また、委任状には否とす るものはないことを確認した。

その結果、過半数の賛成を得ることができ、これを原案のとおり承認可決した。

·提出資料 2020 年度事業計画案

第2号議案 2020 年度収支予算案の件 議長の指名により、松島 誠 経理担当 理事から、2020 年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)における収支予算案 について、下記の書類を提出して詳細に説明した。

議長から第2号議案について、その承認を 挙手にて求め、また、委任状には否とするも のはないことを確認した。

その結果、過半数の賛成を得ることができ、 これを原案のとおり承認可決した。

・提出資料 2020 年度収支予算書案

第3号議案 2020年度資金調達及び設備投資の見込み案の件

議長の指名により、松島 誠 経理担当理 事から、2020年度(自2020年4月1日 至 2021年3月31日)における資金調達及び設 備投資の見込み案について、下記の書類を提 出して詳細に説明した。

議長から第3号議案について、その承認を 挙手にて求め、また、委任状には否とするも のはないことを確認した。その結果、過半数 の賛成を得ることができ、これを原案のとお り承認可決した。

・提出資料 2020 年度資金調達及び設備投資 の見込み案 第4号議案 2019 年度会費の公共事業への配賦割合変更の件

議長の指名により、松島 誠 経理担当理 事から、2019 年度会費の公益事業への配賦割 合変更について、下記の書類を提出して詳細 に説明した。

議長から第4号議案について、その承認を 挙手にて求め、また、委任状には否とするも のはないことを確認した。

その結果、過半数の賛成を得ることができ、 これを原案のとおり承認可決した。

・提出資料 2019 年度会費の公益事業への配 賦割合変更

第5号議案 役員等の退任に伴う感謝状及 び記念品贈呈規則の改正の件

議長の指名により、三角 隆彦 総務担当 理事から、役員等の退任に伴う感謝状及び記 念品贈呈規則の改正について、下記の書類を 提出して詳細に説明した。

議長から第5号議案について、その承認を 挙手にて求め、また、委任状には否とするも のはないことを確認した。

その結果、過半数の賛成を得ることができ、 これを原案のとおり承認可決した。

提出資料 役員等の退任に伴う感謝状及び 記念品贈呈規則の改正

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べた。

閉会

新江 良一 代表理事から挨拶の後、三角 隆彦 総務担当理事より閉会を宣言。

午後3時58分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録 を作成し、議長、副議長、議事録署名人がこ れに記名押印する。

2020年3月18日

公益社団法人神奈川県病院協会総会

議 長 宮川 政久

副議長土屋敦

議事録署名人 角野 禎子

議事録署名人 池島 秀明

(2)理事会

ア 第1回理事会

承認事項

- (1) 正会員の入会について (横浜鶴見リ ハビリテーション病院)
- (2) 理事の辞任について
- (3) 公益社団法人神奈川県病院協会職員給 与規則の一部改正について
- (4) 第26回日本医療法人協会神奈川県支部総会後研修会の共催について
- (5) 第28回在宅医療・介護セミナーの後援とPRについて
- (6) 市民公開講座 子どもの SOS を支援につ なげる〜私たちに何ができるか〜の後 援について

- (1) 行事予定 (4月・5月)
- (2) 会務報告
- (3) 正会員の異動等について
- (4) 平成31年度病床機能分化・連携促進事業について
- (5) 神奈川県医療対策協議会報告
- (6) 神奈川県医療審議会報告
- (7) 第81回神奈川県医師会教命情報システム症例検討会報告
- (8) 第4回神奈川県医師会教命情報システム運営委員会報告
- (9) 平成30年度神奈川県エイズ治療拠点病 院等連絡協議会総会及び第21回運営委 員会報告
- (10) 神奈川県医師会第3回医療従事者確保 対策委員会報告

- (11) 神奈川県医師会医事紛争特別委員会報告(4月2日)
- (12) 平成30年度調査(定期昇給等調査、医師と看護師のモデル年収調査)の結果について
- (13) 平成30年度第1回総務委員会報告
- (14) 平成30年度第3回神奈川県保健医療計画推進会議報告
- (15) 第2回神奈川県医師会医師臨床研修制 度対策委員会報告
- (16) 第 16 回大学・同付属病院と県下病院 との連携に関する意見交換会報告
- (17) 神奈川県医療対策協議会専門研修プログラム調整ワーキングループ(書面会議)報告
- (18) 第 16 回神奈川県医師会地域保健対策 委員会報告
- (19) 神奈川県地域医療連携ネットワーク構築検討会議設置準備会報告
- (20) 神奈川県医師会 第4回災害救助対策 委員会報告
- (21) 平成30年度神奈川県災害医療対策会 議報告
- (22) 神奈川県医師会 第8回救急医療対策 委員会報告
- (23) 平成30年度第2回神奈川県在宅医療 推進協議会及び地域包括ケア会議報告
- (24) 平成30年度第3回神奈川県難病対策協議会報告
- (25) 県総合医療会館の県有持ち分の譲受等 に係る平成30年度特定資産への積立 について
- (26) 第1回選挙管理委員会報告 その他
 - ① 情報提供の状況について
 - ② 医療ニュース
 - ③ 2019 年度総会・理事会等日程
 - ・第1回常任理事会(4月17日)について
 - ・第7回常任理事会(10月16日)について
 - ④ 2020 年度 国・県予算の編成に際して の要望について

⑤ 神奈川県病床機能転換支援セミナーに ついて神奈川県の医療機関向け支援事 業のご案内

イ 第2回理事会

日時 2019年5月29日(水)午後2時30分場所 県総合医療会館2階会議室A 出席理事 34名 承認事項

- (1) 2019 年神奈川県病院協会役員選挙にお ける当選人の決定について
- (2) 理事の辞任について
- (3) 第94回定時総会の開催について
- (4) 第94回定時総会の議案について
 - ① 平成30年度会務及び事業報告
 - ② 平成30年度決算
 - ③ 役員選任
- (5) 2020 年度国・県予算の編成に際しての 要望について
- (6) 地域医療構想調整会議への参加委員の 推薦について
- (7) 未病改善のためのオーラルフレイル対応型指導者育成事業検討委員会委員の推薦について
- (8) 第10回 神奈川県慢性期医療協会 講演 会の後援について
- (9) 平成31年度災害時医療救護活動研修会の共催について
- (10) 第21回神奈川看護学会の後援について
- (11) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2019 横浜の後援について
- (12) 2019 年度理学療法普及啓発キャンペーンの後援について
- (13) 2019 年度がん征圧月間運動の後援に ついて

- (1) 2019 年神奈川県病院協会役員選挙管理 に関する報告
- (2) 行事予定(6月・7月)
- (3) 会務報告

- (4) 正会員の異動等について
- (5) 神奈川県受託事業「2019 年度 病床機能 分化・連携促進事業」の申請及び内示に ついて
- (6) 第2回医療ツーリズムと地域医療との 調和に関する検討会及び同ワーキング グループ報告
- (7) 2019 年度のスポーツ大会について
- (8) 神奈川県医師会医事紛争特別委員会報告(5月14日)
- (9) 神奈川県地域医療支援センター運営委員会報告
- (10) 第38回神奈川県病院学会について (一般演題募集)
- (11) 2019 年度神奈川県知事と神奈川県病院 医療関係団体連絡協議会との意見交換 会報告
- (12) 第17回・第18回神奈川県医師会地域 保健対策委員会報告
- (13) 神奈川県地域医療連携ネットワーク構 築検討会議第1回会議報告
- (14) 第9回神奈川県医師会教急医療対策委員会報告
- (15) 第 5 回神奈川県医師会在宅医療対策委員会報告
- (16)「神奈川県内の病院における身元保証人等の状況」調査結果等について

その他

- ① 情報提供の状況について
- ② 医療ニュース
- ③ 医療介護総合確保促進法に基づく神 奈川県計画(令和2年度 医療分・介 護分)へ位置付ける事業のアイデア募 集について
- ④ 2019 年度神奈川県医師会勤務医部会研修会(6月5日)について
- ⑤ 神奈川県医療情報セミナー2019 (7月5日) について
- ⑥ 令和元年度神奈川県看護職員認知症対 応力向上研修 (7月16日~) について

ウ 臨時理事会

日時 2019年6月19日(水)午後2時30分場所 横浜ベイシェラトンホテル 出席理事 39名

議題

- (1) 会長の選定 (定数1名)
- (2) 副会長の選定(定数2名以上4名以内)
- (3) その他

工 第3回理事会

承認事項

- (1) 常任理事の選定について
- (2) 役員事業分担について
- (3) 外部機関の各種委員会委員の就任について
- (4) 代行順序について
- (5) 顧問及び参与の委嘱について
- (6) 令和2年度国・県予算の編成に際して の要望案について
- (7) 医療介護総合確保促進法に基づく神奈 川県計画(令和2年度 医療分)へ位置 付ける事業のアイデアについて
- (8) 第18回日本音楽療法学会関東支部大会 (神奈川) の後援について
- (9) 横浜市病院協会「市民講演会」の後援 について
- (10) 第5回常任理事会 (7月17日) の休 会について

- (1) 2019 年度総会・理事会等の日程につい て
- (2) 行事予定 (7月・8月)
- (3) 会務報告
- (4) 委員会事業委員の選任について
- (5) セーリングワールドカップ 2019 江の島 大会における医療支援について
- (6) 第62 回野球大会開会式報告
- (7) 神奈川県医師会医事紛争特別委員会報

告(6月4日・7月2日)

- (8) 2019 年度病院管理研修について
- (9) 第38回神奈川県病院学会に係る研究発表(一般演題)の募集について
- (10) 第 19 回神奈川県医師会地域保健対策委員会報告
- (11) 神奈川県地域医療連携ネットワーク構築検討会議第2回会議報告
- (12) 第6回神奈川県医師会在宅医療対策委員会報告

その他

- ① 情報提供の状況について
- ② 医療ニュース
- ③ 地域医療構想の実現・働き方改革の推進に向けた病院管理者研修(第1回)の 参加者推薦について
- ④ 共催事業 日本医療法人協会神奈川 県支部主催研修会「安全で良質な医療の 提供を目指して― 個別指導及び適時調 査の現状 ―」について

才 第4回理事会

日時 2019年9月4日(水)午後2時30分場所 県総合医療会館2階会議室A 出席理事 39名

承認事項

- (1) 正会員の入会について (大和徳洲会病院)
- (2) 神奈川県救急医療問題調査会各部会等 の委員推薦について
- (3) 令和元年度神奈川県医療安全推進セミナーの負担金について
- (4) 健康チャレンジフェアかながわ 2019 へ の負担金拠出について
- (5) 神奈川新聞「2019年がん征圧キャンペーン」特集記事の広告掲載について
- (6) 神奈川県 病床機能転換支援セミナーの 共催について
- (7) 2019 年度医療福祉講座に伴う共催と経 費の援助について
- (8) 神奈川県保険医協会主催「第23回医

- 療・健康フェスティバル」の後援につい て
- (9) 令和元年度「かながわ献血キャンペーン」の後援について

- (1) 行事予定 (9月・10月)
- (2) 会務報告
- (3) 正会員の異動等について
- (4) 令和2年度 国及び神奈川県予算の編成 に際しての要望について(政党ヒアリン グ及び県要望報告)
- (5) 第3回医療ツーリズムと地域医療との 調和に関する検討会報告
- (6) 令和元年度神奈川県**救急医療**功労者表彰 について
- (7) 第11回地区病院協会長会議の開催について
- (8) 第6回愛知県病院協会との交流・連携 会議の開催について
- (9) 第62 回野球大会報告
- (10) 令和元年度第1回神奈川県医療安全対 策事業実行委員会報告(令和元年度神奈 川県医療安全推進セミナーの開催につい て)
- (11) 神奈川県医師会医事紛争特別委員会報告(8月6日・9月3日)
- (12) 2019 年度第1回医事研究会(ワークショップ)報告
- (13) 県民公開講座「認知症のお話」の開催に ついて(高齢者医療対策委員会及び精神 保健医療対策委員会 共催事業)
- (14) 医療介護総合確保促進法に基づく神奈 川県計画(令和2年度 医療分)へ位置付 ける事業アイデアの提出について
- (15) 令和元年度第1回神奈川県保健医療計 画推進会議報告
- (16) 第21回神奈川県医師会と神奈川県病院 協会との意見交換会の開催について
- (17) 専門研修プログラム調整ワーキンググループ(書面会議)報告
- (18) 2019 年度第 2 回学術委員会報告

- (19) 令和元年度神奈川県医療勤務環境改善支援センター連絡調整会議報告
- (20) 神奈川県「第1回在宅医療・介護連携推 進事業研修会」報告
- (21) 未病改善のためのオーラルフレイル対応 型指導者育成事業第1回検討委員会報告
- (22) 2019 年度 病院管理研修及び第1回医 業経営セミナーの開催について

その他

- ① 情報提供の状況について
- ② 医療ニュース

カ 第5回理事会

日時 2019年10月2日(水)午後2時30分場所 県総合医療会館2階会議室A 出席理事 41名

承認事項

- (1) 神奈川県高齢者教急連絡調整会議の委 員の推薦について
- (2) 地域医療構想講演会「みうら半島の明 日を考える Part5」の後援について
- (3) 第22回子ども虐待防止シンポジウムの 後援について
- (4) 第21回神奈川県医師会との意見交換会 の議題について

報告事項

- (1) 行事予定(10月・11月)
- (2) 会務報告
- (3) 神奈川県医療対策協議会報告
- (4) 医療ツーリズムと地域医療との調和に 関する検討会 中間報告について
- (5) 公立・公的医療機関等に対する機能の 再検証要請について
- (6) 第51 回女子バレーボール大会報告
- (7) 第1回神奈川県医師会医療従事者確保 対策委員会報告
- (8) 神奈川県医師会医事紛争特別委員会報告(10月1日)
- (9) 令和元年度第2回神奈川県保健医療計 画推進会議報告
- (10) 第1回神奈川県医師会地域保健対策委

員会報告

- (11) 第1回神奈川県医師会救急医療対策委 員会報告
- (12) 令和元年度第1回神奈川県在宅医療推 進協議会及び神奈川県地域包括ケア会 議報告
- (13) 2019 年度第 1 回医業経営セミナー報告 その他
 - ① 情報提供の状況について
 - ② 医療ニュース
 - ③ 第38回神奈川県病院学会プログラ ム・抄録について
 - ④ 神奈川県病床機能転換支援セミナーについて
 - ⑤ 2020 年度上半期 (4月~9月) の総会・ 理事会等日程について
 - ⑥ 第11回地区病院協会長会議(11月 6日)の議題の提案状況について
 - ⑦ 救急医療の「出口問題」の解消に向けた、二次・三次救急医療機関における長期在院患者の状況調査の実施について

キ 第6回理事会

日時 2019年11月6日(水)午後2時30分場所 県総合医療会館2階会議室A 出席理事 39名

承認事項

- (1) 日本医療マネジメント学会第 19 回神奈 川支部学術集会の後援と協賛について
- (2) 第33回神奈川母性衛生学会総会ならび に学術集会に伴う後援と助成について
- (3) 令和元年度第2回医療従事者の勤務環境改善のための研修会及び宿日直・研鑽関係通知説明会の共催について
- (4) ピンクシャツデー2020 in 神奈川の後援について
- (5) 人工呼吸器セミナーの後援について
- (6) 神奈川県保険医協会 市民公開講座の 後援について

報告事項

(1) 行事予定(11月・12月)

- (2) 会務報告
- (3) 神奈川県医療審議会報告
- (4) 神奈川県医療審議会医療法人部会報告
- (5) セーリングワールドカップ江の島大会 における医療支援について
- (6)「医療ツーリズムと地域医療との調和に 向けた国のルールを整備することを求 める要望」の提出について
- (7) 令和元年度神奈川県医療安全推進セミナー開催報告
- (8) 神奈川県医師会第1回自浄作用特別委 員会報告
- (9) 神奈川県医師会医事紛争特別委員会報告(11月5日)
- (10) 2019 年度県民公開講座「認知症のお話」開催報告
- (11) 2019 年度第2回医事研究会の開催について
- (12) 神奈川県医師会第1回災害救助対策委 員会報告
- (13) 公立・公的医療機関等に対する再検証 要請に係る連絡会報告
- (14) 第2回神奈川県医師会在宅医療対策委員会報告
- (15) 2019 年度事務長等表彰の推薦について
- (16) 2019 年度第1回広報委員会報告
- (17) 第38回神奈川県病院学会開催報告
- (18) 神奈川県医師会主催 医師確保計画の 策定に伴う「医師偏在指標・外来偏在指標」に係る研修会の開催について
- (19) 第2回神奈川県医師会地域保健対策 委員会報告
- (20) 令和元年度第1回神奈川県高齢者救急 連絡調整会議報告

その他

- ① 情報提供の状況について
- ② 医療ニュース
- ③ 地域医療構想に関する自治体等との意 見交換会 (10/29 開催) について

ク 第7回理事会

日時 2019年12月18日 (水) 午後4時 場所 ホテル横浜ガーデン「ミモザ」 出席理事 39名

承認事項

- (1) 2020 年度の総会・理事会等の開催日程について
- (2) 神奈川県地域医療講演会の開催等について
- (3) 令和元年度 新型インフルエンザ等対策 訓練(県主催 情報伝達訓練)の実施に ついて
- (4) 第15回がん克服シンポジウムの負担金納入について
- (5) 第21回神奈川県看護教育フォーラムの 後援及び賛助について
- (6) 第16回かながわリハビリテーション・ ケアフォーラムの共催について
- (7) かながわ「I CTを活用した地域医療 介護連携ネットワーク」セミナーの後援 について
- (8) 第15回神奈川県合同輸血療法委員会の後援について
- (9) 第37回神奈川県理学療法士学会の後援 について
- (10) 第18回神奈川県介護支援専門員研究大会の後援について
- (11) 第7回神奈川県医師会在宅医療研修会の後援について
- (12) かながわ女性の健康 未病改善フェア IN みなとみらい 2020 の後援について

- (1) 行事予定(1月·2月)
- (2) 会務報告
- (3) 会員の異動等について
- (4) 医療ツーリズムと地域医療との調和に 向けた国のルールを整備することを求 める要望について
- (5) 第6回愛知県病院協会との交流・連携 会議報告
- (6) 神奈川県看護協会との意見交換会報告
- (7) 救急医療問題調査会プレホスピタルケ

ア二次・三次救急部会報告

- (8) 神奈川県医師会第1回救命情報システム運営委員会報告
- (9) 令和元年度県内医師会立等看護師・准 看護師養成所関係者会議報告
- (10) 令和元年度神奈川県医療安全推進協議 会報告
- (11) 令和2年度 国及び神奈川県への要望 の回答送付について
- (12) 第11 回地区病院協会長会議報告
- (13) 神奈川県地域医療支援センター運営委員会報告
- (14) 第 21 回神奈川県医師会と神奈川県病 院協会との意見交換会報告
- (15) 2019 年度病院管理研修実施報告
- (16) 県民集会「国民医療を守るための神奈川県総決起大会」報告
- (17) 令和元年度神奈川県周産期医療協議会 報告
- (18) 第3回・第4回神奈川県医師会地域保 健対策委員会報告
- (19) 神奈川県医師会第2回救急医療対策委員会報告
- (20) 高齢者救急検討ワークショップの開催 について
- (21) 第3回神奈川県医師会在宅医療対策委員会報告

協議事項(意見交換)

・第2回地域医療構想調整会議(10月~ 12月)の結果等について

その他

- ① 情報提供の状況について
- ② 医療ニュース
- ③ 神奈川県立衛生看護専門学校の第二 看護学科の今後について
- ④ 今後の風しんの追加的対策について
- ⑤ 神奈川県病院協会を騙った迷惑メー ルについて

ケ 第8回理事会

日時 2020年1月15日 (水) 午後4時

場所 横浜ベイホテル東急 地下2階

出席理事 37名

承認事項

- (1) 2019 年度神奈川県看護師等養成機関連 絡協議会と神奈川県看護師等養成実習病 院連絡協議会との連絡会議(研修会)の共 催と費用負担について
- (2)「医師確保計画(保健医療計画の一部) (素案)」に関する意見の提出について
- (3) 2020 年度診療報酬改定説明会の実施案 について

報告事項

- (1) 行事予定 (1月・2月)
- (2) 会務報告
- (3) 第48回ボウリング大会報告
- (4) 2019 年度第2回医事研究会報告
- (5) 2019 年度第 2 回医業経営セミナーの開催について
- (6) 令和元年度新型インフルエンザ等対策 訓練 実施報告

その他

- ① 情報提供の状況について
- ② 医療ニュース
- ③ 神奈川県病院協会を騙った迷惑メール への対処方針について
- ④ ホームページのリニューアルについて
- ⑤ 会報第50号(3月発行予定)に掲載す る写真の提供について

意見交換

「2020年の地域医療行政」

コ 第9回理事会

承認事項

- (1) 第95回総会の開催及び委任状の取扱い について
- (2) 2020 年度の野球大会について
- (3) 神奈川県看護職員の確保及び資質向上

推進委員会の委員の推薦について 報告事項

- (1) 行事予定(2月・3月)
- (2) 会務報告
- (3) 令和元年度神奈川県救急医療問題調査 会報告
- (4) 医療従事者の勤務環境改善のための研修会及び宿日直・研鑽関係通知説明会報告
- (5) 神奈川県地域医療講演会の開催につい て
- (6) 神奈川県医師会医事紛争特別委員会報告(2月4日)
- (7) 令和2年度診療報酬改定説明会の開催 について
- (8) 2019 年度調査の実施について(調査委員 会報告)
- (9) 2019 年度事務長等表彰の被表彰者について(総務経理・褒賞委員会報告)
- (10) 医師法第16条の8の規定に基づく専門 研修に関する協議に基づく意見(専門医 制度整備指針等)について
- (11) 第17回大学・同大学付属病院と県下病院 との連携に関する意見交換会の開催につい て
- (12) 令和元年度第2回神奈川県生活習慣病対 策委員会報告
- (13) 令和元年度神奈川県後発医薬品使用促進協議会報告
- (14) 令和元年度神奈川県感染症対策協議会報告
- (15) 神奈川県医師会 地域医療構想研修会 ~ 本県にとって必要な調整会議の進め方 ~ の開催について
- (16) 神奈川県医師会第3回救急医療対策委員会報告

その他

- ① 情報提供の状況について
- (2) 医療ニュース

サ 第10回理事会

協議・承認事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症に係る対応 等について
 - ① 神奈川県医療課より説明
 - ② 当協会の当面の対処方針他
 - ③ 緊急調査実施報告
 - ④ その他
- (2) 理事の辞任について
- (3) 第95回総会議案について
 - ① 2020 年度事業計画
 - ② 2020 年度収支予算
 - ③ 2020 年度資金調達及び設備投資の見込み
 - ④ 2019 年度会費の公益事業への配賦割 合変更
- (4) 令和2年度理学療法講習会の後援について

- (1) 行事予定 (3月・4月)
- (2) 会務報告
- (3) 正会員の退会について(北里大学東病院)
- (4) 第4回医療ツーリズムと地域医療との調 和に関する検討会報告
- (5) 神奈川県医療対策協議会報告
- (6) 令和元年度第2回神奈川県認知症対策推 進協議会報告
- (7) 神奈川県医師会医事紛争特別委員会報告 (3月3日)
- (8) 令和元年度神奈川県在宅歯科医療連携拠 点事業推進協議会報告
- (9) 第1回神奈川県看護職員の確保及び資質 向上推進委員会報告
- (10) 第5回神奈川県医師会地域保健対策委員会報告
- (11) 第4回神奈川県医師会在宅医療対策委員 会報告
- (12) 神奈川県歯科医師会 未病改善のための オーラルフレイル対応型指導者育成事業

第2回検討委員会報告

(13) 2019 年度事務長部会アンケート調査に ついて

その他

- ① 情報提供の状況について
- ② 医療ニュース

(3) 常任理事会

ア 第1回常任理事会 休会

イ 第2回常任理事会

協議事項

- (1) 第10回 神奈川県慢性期医療協会 講演 会の後援について
- (2) 第94回定時総会の開催について
- (3) 第94回定時総会の議案等について
 - ① 平成30年度会務及び事業報告
 - ② 平成30年度決算
 - ③ 役員選任

報告事項

- (1) 会務報告
- (2) 第17回・第18回神奈川県医師会地域 保健対策委員会報告
- (3) 2020 年度 国・県予算の編成に際して の要望について
- (4)「神奈川県内の病院における身元保証人等の状況」調査結果について

その他

- ① 神奈川県受託事業「2019 年度 病床機能 分化・連携促進事業」の申請状況につい て
- ② 令和元年度神奈川県看護職員認知症 対応力向上研修 (7月16日~) について
- ③ 2019 年度神奈川県医師会勤務医部会研修会(6月5日)について
- ④ 神奈川県医療情報セミナー2019 (7月5 日) について

ウ 第3回常任理事会

日時 2019年6月19日(水)午後3時 場所 横浜ベイシェラトンホテル5階 「日輪II

出席 20名

協議事項

(1) 令和2年度国・県予算の編成に際して の要望案について

報告事項

- (1) 会務報告
- (2) 神奈川県医師会医事紛争特別委員会報告(6月4日)
- (3) 第 19 回神奈川県医師会地域保健対策委 員会報告

その他

① 地域医療介護総合確保促進法に基づく 令和2年度神奈川県計画の策定(医療事 業関係・介護従事者の確保等に関する事 業)への意見について

工 第4回常任理事会

議題

- (1) 役割分担について
 - 事業分担
 - 外部委員会の各種委員会委員

その他

・ 常任理事承諾書の提出について

才 第5回常任理事会

休会

力 第6回常任理事会

日時 2019年9月18日(水)午後2時30分場所 県総合医療会館4階県医師会会議室 出席 22名

協議事項

(1) 神奈川県高齢者救急連絡調整会議の委員

の推薦について

(2) 地域医療構想講演会「みうら半島の明日 を考える Part5」の後援について

報告事項

- (1) 会務報告
- (2) 神奈川県医療対策協議会報告
- (3) 第51 回女子バレーボール大会報告
- (4) 第1回神奈川県医師会地域保健対策委員 会報告
- (5) 令和元年度第1回神奈川県在宅医療推進 協議会及び神奈川県地域包括ケア会議報 告

協議 その他

・意見交換「地域医療構想」(令和元年度 第1回調整会議の結果等)

その他

・救急医療の「出口問題」の解消に向けた、 二次・三次救急医療機関における長期在院 患者の状況調査の実施について

キ第7回常任理事会

休会

ク 第8回常任理事会

協議事項

- (1) 第16回かながわリハビリテーション・ケアフォーラムの共催について
- (2) 2020 年度の総会・理事会等の開催日程について
- (3) 第9回常任理事会(12月4日)の休会について
- (4) 第15回神奈川県合同輸血療法委員会の後援について

報告事項

- (1) 会務報告
- (2) 県民集会「国民医療を守るための神奈川 県総決起大会」について
- (3) 医療ツーリズムと地域医療との調和に向

- けた国のルールを整備することを求める要望について
- (4) 神奈川県医師会 第1回救命情報システ ム運営委員会報告
- (5) 令和2年度 国及び神奈川県への要望の 回答送付について
- (6) 第11 回地区病院協会長会議報告
- (7) 神奈川県地域医療支援センター運営委員会報告
- (8) 第3回神奈川県医師会地域保健対策委員会報告

その他

・第21回神奈川県医師会との意見交換会 について

ケ 第9回常任理事会

休会

コ 第10回常任理事会

日時 2020年2月19日(水)午後2時30分場所 県総合医療会館4階県医師会会議室 出席 22名

協議事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症に係る当協会 の当面の対処方針について
- (2) 第95回総会議案について
 - ① 2020 年度事業計画
 - ② 2020 年度収支予算
 - ③ 2020 年度資金調達及び設備投資の見 込み
 - ④ 2019 年度会費の公益事業への配賦割 合変更
 - ⑤ 役員等の退任に伴う感謝状及び記念品 贈呈規則の改正

- (1) 会務報告
- (2) 第4回医療ツーリズムと地域医療との調 和に関する検討会報告
- (3) 2020 年度第1回常任理事会(移動常任理事会)及び 鎌倉市医師会病院会
- (4) 令和元年度第2回神奈川県認知症対策推

進協議会報告

- (5) 令和元年度神奈川県在宅歯科医療連携拠 点事業推進協議会報告
- (6) 第5回神奈川県医師会地域保健対策委員会報告
- (7) 2019 年度事務長部会アンケート調査について

その他

・令和元年度第3回入退院支援に関する研修会 ~多職種、多機関連携を活用した支援~ 〔神奈川県医師会 在宅医療トレーニング センター事業〕について

サ 第11回常任理事会

日時 2020年3月18日(水)午後2時30分場所 県総合医療会館4階県医師会会議室 出席 25名

協議・承認事項

- (1) 2020 年度 第1回理事会及び第1回常任理 事会等の開催の可否及び 新型コロナウイ ルス対策会議の開催について
- (2) 理事の辞任について
- (3) 公益社団法人神奈川県病院協会職員給与規則の一部改正について
- (4) 2020 年度病床機能分化・連携促進事業について
- (5) 神奈川県保険医協会第29回在宅医療・介 護セミナーの後援について

報告事項

- (1) 会務報告
- (2) 新型コロナウイルス感染症に係る対応等
 - ① 緊急調査 (医療資材の確保 及び 看護師 ローテ等病院の医療提供体制への影響調 査) の結果について
 - ② 松本 純 衆議院議員への直接要望(マスク等医療資材の不足) について
 - ③ 神奈川県のコロナ関係ポータルサイト 開設にあたっての意見について
 - ④ 地区病院協会との意見交換会の開催について
- (3) 第3回神奈川県保健医療計画推進会議(書

面会議)報告

(4) 第6回神奈川県医師会地域保健対策委員会報告

その他

(4)三役会議

日 時

①2019年4月3日(水)午後2時

②2019年5月15日(水)午後2時

③2019年5月29日(水)午後2時

④2019年6月19日(水)午後2時30分

⑤2019年7月3日(水)午後2時

⑥2019年9月4日(水)午後2時

(7)2019年9月18日(水)午後2時

图2019年10月2日(水)午後2時

(9)2019年11月6日(水)午後2時

⑩2019年11月20日(水)午後2時

①2019年12月18日(水)午後3時30分

(2)2020年1月15日(水)午後3時30分

[32020年2月5日(水)午後2時

(4)2020年2月19日(水)午後2時

(5)2020年3月4日(水)午後2時

(6)2020年3月18日(水)午後2時

場所

神奈川県病院協会会議室(④印辺を除く)

- ④ 横浜ベイシェラトンホテル
- (1) ホテル横浜ガーデン
- (2) 横浜ベイホテル東急

議題

理事会・常任理事会の議題に関する協議等

(5)新会長·新副会長会議

日時 2019年6月19日(水)午後2時30分 場所 横浜ベイシェラトンホテル 出席 25名

協議事項

- (1) 代行順位について
- (2) 常任理事について
- (3) 役員の事業分担について
- (4) 顧問・顧問兼参与・参与について
- (5) 外部委員会委員について

4 部内委員会に関する件

2019年4月1日から2020年3月31日までの委員会構成は次のとおりである。

			· · · · · ·				1				F3月31	日現在
委員会名 (主な事業区分)	副会	是是	常任	理事	理	事	幹	事	事業]	委員		
1 総務経理·褒賞 (法人会計)	窪倉	孝道	(経理)	幹一郎 靖彦	平元細川	周治	中村	基樹	北川	剛		
			〇 松島 菅	誠 泰博	内海	通						
			(急性期) 〇 三角 太田 (慢性期) 〇 小松!	史一	澤井	博司				·		
2 地域保健医療対策 (公益目的事業 公1)	窪倉	孝道	篠原 (公衆衛生	裕希	小澤	幸弘	 伊藤 	正行	花岡	伸		
			〇 長倉 中沢 地域復原 〇 鈴木	明紀 iケア) 裕希	八十川	川要平						
3 学術 (公益目的事業 公2)	長堀	薫		靖悟 裕一 隆彦 泰博	_	幸弘 浩行 建一朗	荒木	洋	大嶋	拙夫 一郎 系団体		
4 教育研修 (収益事業等 他1)	長堀	薫	〇菅	泰博	金井	歳雄	荒木	洋	山田 鈴木	修 通	中村 丘	洋爾 真樹
5 調査 (収益事業等 他1)	数野	隆人	〇 新納	憲司	井上 中野	元保 太郎	伊藤	稔	石田知	憲一郎	松本	進
6 保険医療対策 (収益事業等 他1)	数野	隆人	〇 沼田 高原	裕一 和享	土屋	敦	持丸	幸一	武田 秋山		有泉	義一
7 救急·防災対策 (公益目的事業 公1)	吉田	勝明	〇 中沢 沼田 南	明紀 裕一 康平_	山下 石原 山本	巌 淳 裕司	江原	正恭	小林 横溝	章利 勝明	折登	岡[
8 病院從事者対策 (公益目的事業 公2)	長堀	薫	○ 高原 高野 松島	和享 靖悟 誠	相原 北川 髙橋	道子 博明 寛	畑	宏明	中村	基樹		
9 医療安全対策 (公益目的事業 公2)	吉田	勝明	〇 松井	住仁	峰野	元明	江原	正恭	平林	智治	酒井	篤史
10 広報 (収益事業等 他2)	長堀	薫	〇太田	史一	鳴海 徳田	裕之 博正	平林	広康	高野	昇平	武田	朋久
11 厚生福祉 (収益事業等 他2)	吉田	勝明	<u> </u>	誠	宮川 池島	政久 秀明	横山	伸泰	川原	哲司	中村	基樹
12 病院経営対策 (収益事業等 他1)	数野	隆人	新納	康平 憲司	今井	重信	鈴木	通				
13 高齢者医療対策 (公益目的事業 公1)	数野	隆人	O 鈴木 松井	龍太 住仁	角野 杉山	禎子 肇	石川	達也	玉木	和彦	花岡	伸
14 精神保健対策 (公益目的事業 公1)	吉田	勝明	○ 菅 常任理事の	泰博	山口	哲顕	酒井 2019年6		山田	修	奈良	

※常任理事の○印は主担当 任期:2019年6月19日~2021年6月の定時総会終結時

部外審議会等に関する件 5

当協会が推薦した審議会・協議会・委員会 の委員等は次のとおりである。(2020.3.31. 現在)

(1) 神奈川県

医療審議会委員 新江 良一 同 医療法人部会委員 新江 良一 医療対策協議会委員 新江 良一 同 専門研修プログラム調整ワーキング グループ委員 窪倉 孝道 地域医療支援センター運営委員会委員 窪倉 孝道 保健医療計画推進会議委員 窪倉 孝道 同 医療ツーリズムと地域医療との調和 に関する検討会委員 新江 窪倉 孝道 , 三角 隆彦 地域医療連携ネットワーク構築検討会議 委員 三角 隆彦 地域医療構想調整会議委員 横浜地域 窪倉 孝道 川崎地域 泰博 同 医療ツーリズムと地域医療との

調和に関するワーキンググループ委員 太田 史一

相模原地域 八十川要平

保健医療福祉推進会議委員

三浦半島地区 長堀 湘南東部地区 数野 隆人 湘南西部地区 鈴木 龍太 高原 和享 県央地区 南 康平 県西地区 在宅医療推進協議会委員 窪倉 孝道 窪倉 孝道 地域包括ケア会議委員 吉田 勝明 医療費檢計委員会委員 裕一 周産期医療協議会委員 沼田 医療安全推進協議会委員 吉田 勝明 認知症対策推進協議会委員 吉田 勝明 アレルギー疾患対策専門家検討会委員 吉田 勝明

アレルギー疾患医療拠点病院選定部会委員

吉田 勝明 エイズ対策推進協議会委員 吉田 勝明 難病対策協議会委員 鈴木 龍太 太田 史一 献血推進協議会委員 感染症対策協議会委員 小松幹一郎

新型インフルエンザ専門委員会委員 小松幹一郎 後発医薬品使用促進協議会委員 小松幹一郎 生活習慣病対策委員会委員 沼田 裕一 がん・循環器病対策部会委員 高野 媠悟 がん対策推進協議会委員 三角 隆彦 リハビリテーション協議会委員 高野 靖悟 リハビリテーション協議会連携指針検討 高野 靖悟 部会委員 救急医療問題調査会委員 新江 良一 同 プレホスピタルケア・二次・三次 救急部会委員 新江 良一、中沢 明紀 瞢 泰博, 山本 裕司 同 プレホスピタルケア・二次・三次 救急部会高齢者救急検討ワーキン ググループ委員 菅 細川 治,山本 裕司 プレホスピタルケア・二次・三次 救急部会救命救急センター新整備 指針検討ワーキンググループ委員 泰博, 山本 裕司 菅 菅 同 小児救急部会委員 泰博 精神科救急医療調整会議委員吉田 勝明 高齢者救急連絡調整会議委員細川 治 ドクターへリ連絡調整会議委員 高野 靖悟 メディカルコントロール協議会委員 数野 隆人 同 検討部会委員 数野 隆人 救急医療情報システム検討会委員 三角 隆彦 救急搬送受入協議会委員 吉田 勝明 薫,中沢 明紀 長堀 作業部会委員 吉田 勝明 三角 災害医療対策会議委員 隆彦 同 医療救護体制部会委員 三角 隆彦 三角 隆彦 同 医療活動部会委員 同 人材育成部会委員 三角 隆彦 同 ロジスティック部会委員 三角 隆彦 医療勤務環境改善支援センター連絡調整 会議委員 高原 和享 看護賞選考委員会委員 新江 良一 看護職員資質向上推進委員会委員

高原

高原

和享

和享

訪問看護推進協議会委員

未就業看護職員の再就業促進委員会委員 高原 和享 准看護師試験委員会委員 高原 和享 医療通訳派遣システム運営協議会委員 高野 靖悟 県立こども医療センター地域医療支援 事業運営委員会委員 山田 健一朗 県立循環器呼吸器病センター地域医療 支援事業運営委員会委員 沼田 裕一 県立保健福祉大学教育研究審議会委員 長堀 障害者差別解消支援地域協議会委員 太田 史一 福祉の街づくり推進協議会委員 高原 和享 かながわ地球環境保全推進会議委員 南 康平

(2)神奈川県医師会

褒賞特別委員会委員 新江 良一 医師臨床研修制度対策委員会委員

勤務医部会幹事 新納 憲司 救急医療対策委員会委員

吉田 勝明,菅 泰博 《字教助封等委員会委員

災害救助対策委員会委員

数野 隆人,三角 隆彦

救命情報システム運営委員会委員

吉田 勝明,新納 憲司

地域保健対策委員会委員 窪倉 孝道

太田 史一,長倉 靖彦

在宅医療対策委員会委員

窪倉 孝道 小澤 幸弘

医療従事者確保対策委員会委員

吉田 勝明

医事紛争特別委員会委員 吉田 勝明 病院診療所対策委員会委員 太田 史一 自浄作用特別委員会委員 吉田 勝明 医療事故調査支援委員会委員

吉田 勝明,窪倉 孝道

三角 隆彦

(3) 関係団体等

救急医療中央情報センター運営協議会委員 吉田 勝明,数野 隆人 救急医療中央情報センター運営協議会 小委員会委員 数野 隆人 神奈川県総合医療会館管理委員会委員

松島 誠、菅 泰博 神奈川県公衆衛生協会理事 新江 良一 神奈川県済生会理事 新江 良一 かながわ健康財団理事 新江 --- 身一 同 腎・アイバンク推進会議委員 新江 良一 同 がん対策推進会議委員 新納 憲司 同 がん克服シンポジウム実行委員会 委員 新納 日本赤十字社神奈川県支部評議員 新江 良一 スモークフリー推進かながわ基金運営 委員会委員 吉田 医療安全対策事業実行委員会委員 吉田 勝明 機能評価事業推進会議委員 吉田 勝明 同 副委員 窪倉 孝渞 医薬品適正使用検討委員会委員 池島 秀明 横浜市大医学部附属市民総合医療センター 高度救命救急センター医療関係協議会 幹事会委員 長堀 薫 神奈川県透析施設連絡協議会常任理事 沼田 裕一 同理事 太田 史一 神奈川県ナースセンター事業運営委員会 高原 和享 神奈川県看護職員確保対策連絡協議会 高原 和享 神奈川県ドクターへリ運行調整委員会 委員 高野 靖悟 神奈川県エイズ治療拠点病院等連絡 協議会運営委員会委員 吉田 勝明 がん診療医科歯科連携検討委員会委員 新納 憲司 未病改善のためのオーラルフレイル 对応型指導者育成事業検討委員会委員 池島 秀明 神奈川県在宅歯科医療連携拠点運営 事業推進協議会委員 南 康平 横浜市大医学部後援会理事 新江 良一 昭和大学三病院顧問 新江 良一 県立保健福祉大学を支援する会副会長 新江 良一

	ぶ就任した当協			同 監事	朝倉秋山	昌人武仁
委員は以下のと	こわりでめる。 É薦によらなレ			瀬谷区医師会監事	吉田 大友	勝明 正孝
第 218 回全理事			の軟団件は	大学区医師会会長	八及 後藤	正字 隆久
	と行する名簿な		認		相原	隆久 道子
MIDITA A		ж <u>С</u> - С р	Hirt		門倉	光隆
(1)日本医師:	슾			和	中野	雄二
代議員		澤井	博司	— ,	中野 佐々オ	
T VIDEO		ーナン	100 - 00	,	増田	益功
(2)日本病院:	슺			西区医師会監事	亀田	金グ 洋
副会長	_	仙賀	裕	保土ヶ谷区医師会常任理事		淳
常任理事		新江	良一		池	秀之
理事	中 佳一	,高野	靖悟		山口	哲顕
代議員		小澤	幸弘	· · — -	荒井ら	
T VIREA S	, ,	,,从島	誠	(川崎市医師会)	パレフエッ	P 134 19
-	土屋敦		1454	理事 菅 泰愽,	- ⊁-⊞	史一
	1.2			(横須賀市医師会)	ДШ	文
(3)全日本病院	完協会				沼田	裕一
常任理事) L 010 13	山本	登	<u> </u>	石山 岡村隆	
III LLEXT		щт	- 1 1.	□ ● (鎌倉市医師会)	叫作] [语	年以
(4)日本医療》	+ 人 位 今				峰野	PE
理事		宮川	政久	- '	準 野	元明
監事	近藤 脩	, 0/1	政人	(平塚市医師会)	r (a trou <i>tre</i>	1 - ДО
	XIAN PA			 -	山田堡	,,
(5)日本精神和	风病院拉会				稲瀬	直彦
理事	T77110L IJJ Z	大野	史郎	(茅ヶ崎医師会)	巨四	<i>b</i> + <i>△</i> .
代議員	武田龍太郎		哲顕	理事 (座間綾瀬医師会)	長岡	健介
只是	長谷川剛	μн		- / •	ılı E.	朱中
	2017年前			— ·	山上	達也
(6)神奈川県	车辆会			副議長 (藤沢市医師会)	中川	正行
理事		小松草	- Δ → Δ → Δ → Δ → Δ → Δ → Δ → Δ → Δ → Δ	0747 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	学 田	由土
工 手。	田村哲郎	1 1 1 1 1 1 1 1 1	ተ ሥነ	_ , ,,,,	市田	康夫
代議員		宮川	政久	(秦野伊勢原医師会)	# L	— <u>/</u> =
VIDEO PA		土屋	敦		井上	元保
		新納			田中	克明
	- : :	秋山		(足柄上医師会)	## m	34-7 -
		山口		理事 大内 英樹,	牧田	浩行
監事	本品 本 本 本 本 本 本 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	<u>14</u> 1114	白嶼	(厚木医師会)	巨心儿	. <i>5</i> -5
四书	1学才 1年刊				長谷川	節
(7)郡市医師会	_			(逗葉医師会)	/7 WZ	= - -
(横浜市医師会)	=				角野	赬子
理事	後藤隆久,	三角	隆彦	(相模原市医師会)		-1 1.
青葉区医師会		一円 髙橋			土屋	· 敦
有来区医即分 同 監事	3.图文文	商備 平元	寛 周		黒河内	山二郎
同日顧問		半九 澤井	博司	(大和市医師会)	- ا - حـــــــــــــــــــــــــــــــــ	Acres 1
泉区医師会副	11 本臣	使开 池島	海町 秀明		木山	智
来区医師芸蘭 神奈川区医師		心局 新納	海明 憲司	(三浦市医師会)	.j. 3894	+-27
神宗川区医師 同 理事	中女 市 工 生 手	利約 長島	憲可 敦		小澤	幸弘
四		区面	扒	議長	高屋	淳彦

(中郡医師会) 顧問 数野 隆人 理事 島田 英雄 (湘南西部病院協会) (海老名市医師会) 会長 鈴木 龍太 井上 元保,田邉 理事 服部 智任 副会長 享史 (厚木病院協会) (8) 地区病院協会 巌 会長 山下 (横浜市病院協会) 勉 副会長 近藤 会長 新納 憲司 監事 佐藤 一守 副会長 住仁, 平元 周 (大和・高座病院協会) 松井 誠,細川 松島 治 会長 高原 和享 常任理事 吉田 勝明,新江 良一 副会長 島崎 猛 窪倉 孝道、三角 隆彦 (小田原医師会病院会) 山口 哲顕, 池島 秀明 会長 小林 泉 芳明 藤井 (足柄上病院会) 昌人、田口 理事 朝倉 代表 芳雄 牧田 浩行 石原 淳、安藤 暢敏 髙橋 寛, 長島 (9) 神奈川県医療従事者健康保険組合 敦 冨田 祐司,長岡 章平 副理事長 新江 良一 齋藤 知行 常務理事 澤井 博司 門倉 監事 光隆,梅村 理事 黒河内三郎, 小林 敏 泉 康平 (川崎市病院協会) 数野 隆人,南 敦,松井 会長 内海 通 土屋 住仁 副会長 方波見 剛,邊見 仁 松島 誠 孝三 理事 加藤 信夫, 永井 監事 近藤 脩, 窪倉 孝道 太田 史一、川田 克之 忠典 宮川 政久, 佐藤 議員 瞢 泰博、渡邊 嘉行 輝地、徳田 博正 杉田 田島 廣之 新納 憲司, 高原 和享 監事 宮川 政久 秀明、菅 泰博 池島 (相模原市病院協会) 会長 土屋 敦 副会長 小松幹一郎 理事 丘 松壽,清水 直史 悟郎, 中野 太郎 金田 廣瀬 憲一, 松本 岩村 正嗣 監事 世良田和幸 中野 顧問 重徳, 高野 靖悟 黒河内三郎 名誉会長 (鎌倉市医師会病院会) 会長 峰野 元明 監査委員 清川まどか (三浦半島病院会) 会長 長堀 薫 副会長 沼田 裕一 (湘南病院協会) 会長 今井 重信 副会長 木原 明子. 鳴海 裕之 望月 孝俊 監事 松野 正孝

6 総務・経理に関する件

(1) 主務官庁への届出等

- ア 平成30年度事業報告並びに決算書の届出 2019年6月27日
- イ 就任・退任した理事の届出 2019年7月22日
- ウ 2020 年度事業計画並びに予算書の届出 2020 年 3 月 24 日

(2) 経理に関する件

- ア 監事監査 2019年5月17日(金) 実施
- イ 平成30年度決算 2019年6月19日 (水) 開催の第94回定時総会において承認可決
- ウ 2020 年度予算 2020 年 3 月 18 日 (水) 開催の第 95 回総会において承認可決

(3) 国及び神奈川県の予算編成に際しての要望

ア 令和2年度国及び神奈川県予算の編成に際しての要望(神病協発第185号 2019年7月1日他) 厚生労働大臣、財務大臣、県知事、各党県議団に要望書を提出するとともに陳情した。

○国に対する要望

- (ア) 病院の消費税問題の解決について (財務省・厚生労働省 / 一部新規要望)
 - 1 今後将来に向けて、消費税負担に不公平が生じないようにするため、病院の社会保険診療報酬については、原則課税とするよう見直すことで、控除対象外消費税の問題を抜本的に解決すること
- 2 非課税補てん方式のまま行われる令和元年度の消費税増税にあたっては、診療報酬による 補てん状況の的確な把握と検証を継続的に行い、10月の診療報酬の見直しにとどまらず、令和 2年度以降の診療報酬改定の都度、消費税負担分の反映・適正化を図ること

要望の趣旨

病院をはじめとする医療機関は、社会保険診療報酬が消費税非課税であるため、薬剤の購入 や、業務委託、医療機器など施設設備を整備する際に支払った消費税を控除することができません。

仕入れに係る消費税相当額分は診療報酬に上乗せして補てんされる仕組みになっていますが、平成30年夏に厚生労働省が調査した結果、病院では85%しか補てんされていないなどの数値が明らかになっており、それを修正したとしてもこの仕組み自体が大きな欠陥を抱えています。

残念ながら、10 月に予定される 10%への引き上げに際しては、従前どおり診療報酬で補て んすることとなりましたが、病院はそれぞれ規模や機能が異なるため、透明性や公平性の点か ら現行の診療報酬による補てんを今後将来にわたって容認することはできません。

平成 28 年度に当協会で会員病院が負担した控除対象外消費税の額を調査したところ、5%時の平均で約1億円、8%時の平均で約1億5千万円となりました。負担の厳しさは明らかであります。

特に、新棟建設や地域の救急輪番体制を維持するために救急センターを再整備するなど、大

規模な設備投資をする場合には控除対象外消費税の負担は看過できないほど大きいものとなっています。

もはや、診療報酬での補てんには限界があります。非課税の社会保険診療を課税扱いにする ことも含め、問題の解決には抜本的な見直しが必要と考えます。

なお、消費税10%への引き上げにより増加した税収は社会保障財源に確実に充当するととも に、当面、診療報酬上の措置でも、控除対象外消費税が最大限正しく公平に補てんされるよう 併せて要望いたします。

(イ) 地域医療介護総合確保基金の地域の実情に応じた配分への見直しについて

(厚生労働省・財務省 / 一部新規)

当県への基金の配分額について、全国2位の人口規模に応じた額に少しでも近づくよう、 次の事項について配分方法などを見直すこと

- 1 一定の規模までは、自治体の財政状況に左右されず、いわゆる裏負担分なしに基金を 活用できるメニューを一部設定すること
- 2 全国一律に、ハード中心の事業区分1に重点・傾斜配分するのではなく、地域医療の 実情に応じて医療人材確保などのソフト中心の事業に必要十分な配分が行われるよう、 国の配分方針を柔軟に見直すこと
- 3 具体的な基金の使途については、これまで以上に自治体の裁量に委ねること

要望の趣旨

地域医療介護総合確保基金医療分について、全国規模では、総額882.6億円とされているのに対し、当県は、18.1億円となっています。(平成30年度予算)

日医総研の調査によると、人口一人当たりの基金 (2014~2017 年度平均) の配分額は全国で 一番少なく (408 円) なっています。

これは、これまでの国の方針で、ハード整備を中心とした事業区分1に重点的に配分すると していることが、当県の実情には即していないためです。

当県での地域医療が直面している問題は、ハードで解決できるものばかりではなく、むしろ、 医師や看護師などの医療人材の確保・養成が大きく喫緊の課題となっています。また、原則 3 分の一とされる自治体の一般財源の確保に制約があることも、ニーズがあるのに県の予算化に つながらない原因となっています。

(ウ) 病院に勤務する看護補助者の処遇改善に係る診療報酬上の加算制度の創設について (厚生労働省/ 継続要望)

病院における看護補助者の円滑な確保のため、介護報酬制度上の介護職員処遇改善加算に準じる看護補助者の処遇改善に係る診療報酬上の加算制度を創設すること

要望の趣旨

医療と介護に関わる人材確保は困難な状態が続いています。そのような中で、介護の賃金面においては、介護報酬における「介護職員処遇改善加算」により、徐々に改善が図られつつある状況です。令和元年 10 月には、現行の加算に加えて、「特定処遇改善加算」が創設されることになっています。

一方、病院に勤務する看護補助者は、介護保険事業所に勤務する介護職員と同様の業務も行っていますが、病院には処遇改善を目的とした診療報酬上の加算がありません。

この結果、同じ法人で病院と介護施設事業所を運営する場合、病院に勤務する介護職員には「介護職員処遇改善加算」の適用ができないため、病院が加算分を負担しない限り介護保険事業所の介護職員との待遇に差が生じることになります。また、このことが、病院と介護保険事業所間の人事異動の支障にもなっています。

- (エ) ACPの普及啓発と診療報酬の加算について(厚生労働省 / 一部新規要望)
 - 1 超高齢・多死社会を迎えた今日、ACP※という用語の是非も含め、この考え方を、早期 に国民一人ひとりの生活へ浸透させることが必要である。このための普及啓発については、 医療及び介護の現場に丸投げするようなことではなく、国が責任を持って普及啓発の取組み を推進すること
 - 2 医療機関においてACPを行うにあたっては、既存の入院基本料及び各種加算では十分に 評価しえない場合も多くある。ガイドラインなどの一定の基準に則って実施されるものにつ いては、診療報酬上、適切な評価をすべきであり、このための新たな加算措置を講じること
- ※ ACP (アドバンス・ケア・プランニング 愛称: 人生会議)
- ・・人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り 返し話し合うプロセス

要望の趣旨

全国的に救急搬送件数は増加の一途を辿っており、特に高齢者の割合が目立っています。本 来の目的とは異なる軽症例や看取りのための搬送例も多く、受け入れ医療機関の負担はこれま でになく大きくなっています。

こうした中、平成30年3月に厚生労働省は、「人生の最終段階における医療の決定プロセス に関するガイドライン」について、

- ・高齢多死社会の進展に伴い、地域包括ケアの構築に対応する必要があること
- ・英米諸国を中心としてACP※の概念を踏まえた研究・取組が普及してきていることなどを踏まえて改訂しましたが、これは医療及び介護の現場向けのACPの取り組みを進めるための指針とはなりえても、国民に対する積極的なACPの普及・啓発とは捉えられません。 我が国は超高齢社会であるにもかかわらず、ACPの普及が不十分です。

自宅や施設での看取りは喫緊の課題であり、ACPの普及は急務です。

一方、病院現場においてACPに取り組むには、多職種の医療・ケアチームによる複数回の話し合いが必要であり、かなりの時間が割かれている状況にあります。

現在、この一連の作業は診療報酬において十分には点数化されておらず、関係者の自己犠牲 的精神によって支えられています。

ガイドラインに則った適切なプロセスを経て、患者・家族に対する意思決定支援がなされた 場合は、これを診療報酬において評価する必要があります。

(オ) 医療ツーリズムの健全な発展と地域医療の確保について(厚生労働省 / 新規要望) 我が国における医療ツーリズムが地域医療や保険診療を脅かすことなく、健全に発展できる よう、次の事項について、所要の措置を早急に講じられるよう強く要望いたします。

なお、この要望と同趣旨で、地方自治法第99条に基づく意見書が神奈川県議会議長名で提出 されていることを申し添えます。

- 1 病床規制に係る医療法の一部改正等 地域医療に影響する病床の開設が無秩序に許可されないよう、病床規制に係る医療法の 一部改正など必要な措置を講じること
- 2 医療ツーリズムのルールづくり 医療ツーリズムについて、国が責任をもって、総合的な観点から国民的コンセンサスを 形成し、法令等の整備も含めたガイドライン等のルールを構築すること

要望の趣旨

我が国の高度で洗練された医療を受けたいという医療ツーリズムのニーズは高まっており、 観光振興などを目的とした取組も盛んになりつつあります。

一方、医療・介護の分野では2025年問題といわれるように、超高齢社会が進む中、国民の生命と健康を地域で持続的に支えるため、地域医療構想を実現し、地域の実情に応じた、より最適な医療提供体制を構築することは喫緊の課題となっています。

しかし、この2つの命題について、国のこれまでの取組は全くの縦割りで、十分な検討や議 論に基づく制度設計や取組が行われてきたとはいえません。

一例として、これまで基準病床を超える民間病院の開設は、保険医療機関の指定を受けられないことなどが歯止めとなって、医療計画制度が維持されてきました。基準病床を平然とオーバーし、医療計画をないがしろにする病院開設に対しては、知事が病院開設の中止を勧告できることになっています。しかし、医療ツーリズム専用で保険医療機関の指定が不要の者にとって、この中止勧告に抑止力は全くなく、病院開設が許されてしまうのです。

こうしたことを是正するためには、地域医療と医療ツーリズムの両者を調和させる医療法の 見直しとルールづくりが不可欠です。

○神奈川県に対する要望

(ア) 地域医療介護総合確保基金の地域の実情に応じた配分への見直しについて (健康医療局 / 継続要望)

- 1 当協会が国に要望した内容について、神奈川県からも国に働きかけていただくとともに、 これまで以上に地域の医療機関が基金を活用できるよう、最大限の努力をすること
- 2 神奈川県計画の事業化にあたり、各補助金事業の公募と決定プロセスについて、より一層 の透明化・見える化が図られるよう、引き続き努めること
- (イ) 病院に勤務する看護補助者の処遇改善に係る診療報酬上の加算制度の創設について (健康医療局 / 継続要望)

当協会が国に要望した内容について、神奈川県からも国に働きかけていただくよう、要望いたします。

(ウ) 医療介護連携の促進について (健康医療局・福祉子どもみらい局 / 新規要望)

病院と介護事業者との連携がより円滑にできるよう、地域の医療関係団体等が、その地域の 実情に応じて、入退院調整窓口・担当者の一覧を作成するなどの情報共有に取組むことに対し て、県として可能な限りの支援に取り組むこと

要望の趣旨

地域包括ケアシステムの構築には、病院、診療所、介護施設、在宅サービス提供事業者間の連携が不可欠であり、各事業者間において、さらなる情報共有の推進を図る必要があります。

高齢の患者は、介護保険サービスを利用していることも多くありますが、入院時に病院が必要な情報(ケアサービスの利用状況、日常の ADL など)と、退院時にケアマネージャーが必要とする情報(入院時の状況、退院後の医療的な助言など)の交換がスムーズにいかないと、病院は円滑な医療提供ができず、また、介護側はケアマネジメントとサービス提供に支障をきたすことになります。

しかし、相互の情報交換をしたいのに、病院の連携窓口や担当者が分からないので、どこに 話をしたらよいかわからないという、介護側の声も少なくありません。(厚生労働省調査)

これに対し、病院からのアプローチとしては、入退院調整窓口・担当者の一覧を作成し、介 護側に提供する取組みが有効な手立ての一つと考えられます。

各病院が入退院調整窓口を明確化し、介護事業者との連携がスムーズにできるよう、情報共 有の取組に対する一層の支援を要望いたします。

(エ) 医師確保計画策定の方向性について (健康医療局/ 新規要望)

令和元年度末の策定に向け、検討が進められている「医師確保計画」については、三次・二次医療圏単位で、医師偏在指標を踏まえた医師の確保数の目標設定などが求められているところであるが、国の計画策定ガイドラインについては、県でも認識されているように、本県にそのまま適用すると、逆に地域の医療提供体制に支障を来しかねないものとなっている。

国に対し、県として本県特有の課題の所在を十分に主張・説明するとともに、ガイドライン どおりではなく、本県の地域医療の実情に合わせて、課題の解決につながる計画の策定を強く 求める。

要望の趣旨

国が算定した医師偏在指標(暫定版)の算出過程等には不明確な点があり、指標自体が現場の感覚からかけ離れており、実態に即していないという声も多くあります。(本県は、新たな偏在指標では全国23位となりましたが、人口10万人対医師数は全国39位であり、多くの病院では現に不足となっています。)

他にも、この暫定版の指標から変動がない限りは医師少数区域の設定ができず、地域枠の設置・増員の要請ができなくなる恐れがあるなど、国の計画策定ガイドラインは、本県にとって多くの課題があります。

特に「三位一体」の名の下に、危惧されるのは、西日本方面を中心かもしれませんが、国の ニーズである、医療機関の再編成を目論んでいることも警戒する必要があります。

国が全国的にマクロで推進しようとしていることは冷静に受け止めつつも、県としては、こ

の計画策定により、少なくとも本県の地域医療提供体制の将来に悪影響を及ぼすことのないよう、また、当協会も含め医療関係団体と密接に協議を重ねて県民医療の向上のため有効な計画 を策定してください。

(オ) 地域で働く医師(地域枠医師)の養成・確保について(健康医療局/新規要望) 地域医療提供体制の維持・発展のため、医師確保・偏在解消に取り組むうえで、県の役割を 直接担う、地域医療支援センターをより有効に機能させるとともに、支援センター運営委員会 及び事務局体制の充実強化を図ること。

具体的には、

特に横浜市立大学医学部など、地域枠医師の養成に取り組む大学に対して、大学任せにせず、学生が地域のための医師になる動機付けなどに密接に関与すること

また、大学・医学生・研修医と地域の医療機関の橋渡し役として、地域医療に積極的に貢献する医師を養成し配置する取組みを、当協会など医療関係団体との連携をより大切にして推進すること

要望の趣旨

「三位一体」の言葉の是非は別として、医師確保を取り巻く状況は、困難さを増しています。 国の責任も当然あると思いますが、当面の対応としては、国は、都道府県に対して、医師確保 計画の策定を促すなどして、責任を持たせるとしています。

医学部を持たない県としては、県内の医療提供に必要な医師の確保や地域偏在の解消に向けて何ができるかを考えたとき、県として唯一主体的に取り組めることが、地域医療支援センターが実施する地域枠医師の定着と活躍促進です。これは、医師の偏在解消、地域医療構想の実現、医師の働き方改革にも重要な要素です。

神奈川県地域医療支援センターが、地域枠医師のキャリア形成支援と一体的に医師不足病院への支援により積極的に取り組むことで、地域枠医師を地域全体で育てる雰囲気の醸成、環境の整備についても進むものと思われますし、地域枠でない医学生にも、地域医療への貢献の動機付けが好影響を及ぼすことも期待されます。

当協会は、地域の病院などの医療資源が、医療教育に活用され、そのことを通じて、医師の地域への定着を一層促進することにつながることを期待し、協力を惜しまない立場であります。

- (カ) 医療ツーリズムの健全な発展と地域医療の確保について(健康医療局/ 新規要望)
- 1 当協会が国に要望した内容について、神奈川県からも国に働きかけていただくこと
- 2 本県における医療ツーリズムの受け入れは、既存の保険医療機関の余力を活用した形で行う こととし、また、地域医療が損なわれることのないよう、平成30年12月3日の第3回県議 会定例会で県知事が答弁したことを踏まえて、この問題に取り組むこと

(4)神奈川県の施策に対する意見等

ア 地域医療介護総合確保促進法に基づく令和2年度神奈川県計画の策定(医療関係事業)に向けた意見(神病協発第226号 2019年7月24日)

神奈川県健康医療局技監兼保健医療部長の照会に対し、2件の事業を提案した。

1【事業名】 「地域看護師」養成に関する看護職連携キャリア支援事業

【事業内容】 中核病院(地域医療支援病院等の大病院)と地域病院が連携して看護職のキャリア形成を支援し、地域包括ケア時代に求められる地域一般病院や地域包括ケアの現場で活躍する「地域看護師」を広く養成するもの。

【現状と課題】 看護学部の新設・普及と並行し、中核病院では看護学部卒業生を迎え入れることが多くなる一方で、標準的な能力を持ってそこで臨地実習をした看護専門学校の看護学生でさえも、そこへ就職できない現象が生まれている。

その結果、中核病院では看護師確保に余裕が生まれる反面、これから拡大する地域病院医療や地域包括ケアへの対応に向けた看護師確保はなお十分とは言えない現状がある。

これは地域病院に共通する問題と思われることから、今後は国が目指す地域包括ケアと看護師養成・配置の現状との乖離解消が課題と思われる。

そこで、看護師が集中する中核病院となお看護師が不足する地域病院とが連携し、地域包括ケア時代に求められる看護職のキャリア形成を支援しつつ「地域看護師」を養成する事業が求められており、そうした地域で取り組まれる事業への支援が必要と判断した。

【事業効果】 中核病院で看護師としての基礎研修を行い、その後地域病院や在宅分野での研修 へと勤務経験を重ねることによって、看護職・地域包括ケアを担い後方支援する病院・地域住 民の3方に一定の利益が生まれ、地域包括ケアを下支えする人材育成が促進される。

【事業実施主体】 神奈川県病院協会が事務を担っている、神奈川県看護師等養成実習病院連絡協議会があり、養成機関と実習病院が連携して有為な看護師養成に係る事業を推進している。ここが核となり、先ずは中核病院と地域病院でのいくつかのモデル事業を立ち上げるのがよいと考える。そして、養成機関側はその趣旨を看護学生に周知し、事業への参加者を確保できるように協力するなどが考えられる。

【事業実施期間】 地域医療構想の実現に向けた動きもあり、横浜市をはじめとして地域包括ケアと関係深い回復期・慢性期病床の増加が見込まれている。この病床増加の実現を人材確保で担保する必要があり、事業は早くて令和2年から開始し、神奈川県保健医療計画の終了年までを一定の目安とするのがよい。

【予算額】 中核病院が地域病院へ送り出す看護師を余剰的に採用するには一定の人件費と教育費が必要である。先ずはその費用の一定割合を補助してはどうかと考える。その人数分の相当額を積算値とする。

【提案事業をすでに取り組んでいるところがあるか】 全く同じ事業ではないが、「京都府看護職連携キャリア支援事業」というものがある。このプログラムでは看護人材の「地域」への適切なシフトは実現しにくいと感じるが、参考にはなるものと考える。

その目的は【急性期医療を担う病院と回復期リハビリテーション病院や長期療養、在宅医療を担う施設、訪問看護ステーションなどとの間で、在籍出向による相互人事交流を推進し、自施設では経験できない医療機能の中での看護を体験的に学び、自施設の看護の振り返りを通して看護サービスの質を高め、継続看護を確実に遂行できる連携力を鍛える】としている。

2【事業名】 「地域医療対策協議会・地域医療支援センター」の役割強化・体制整備事業 【事業内容】 都道府県協議会及び地域医療支援センターについて、医師不足・偏在の実態把 握及びコンセンサス形成と対策の実行機能を担う体制の充実強化を図る 【現状と課題】 三位一体という言葉に象徴される、地域医療構想、医師の働き方改革、専門 医制度など、医師確保に係る諸問題に対応し、地域医療を確保する観点から「都道府県協議 会」ではこれらの問題を総合的に確認・検討してゆくことが重要とされている。

神奈川県は、医師の人口あたりの数が少ないにもかかわらず、7つの大学病院があり、地域の基幹病院での研修プログラムや研修施設も多いため、こうした作業を、実効性を持って継続的に行ってゆくには体制的にも経費的にも大変負担が大きい。

また、重要な手段である地域枠の医師への支援と活用を進めるための体制も、現在は、ローテーションの頻繁な行政職によって運用され脆弱といわざるをえない。

そこで、基金を活用して都道府県協議会及び地域医療支援センターの効果的運用と実務作業等を専門に担う体制を確立・整備し、本県の地域特性を踏まえた実効性のある協議や対応ができるようにすることが必要と考えられる。

【事業効果】 医師確保問題による地域医療への影響が正しく評価され、そのフィードバックにより、より良い医師確保対策の運用がなされ、その結果として地域医療構想や地域包括ケア実現のための医師体制の改善を一定度期待できる。

【事業実施主体】 主体:神奈川県 医療関係団体・機関(大学医学部・県立病院機構・県医師会・県病院協会等)による受託及び実行委員会方式(医政発0725第15号運営指針で委託は可とされている)

【事業実施期間】 医師確保計画が定着運用されるまでの5年間程度を目安に

【予算額】 協議会等の専門委員謝礼・・約600万円(19分野×3人×5日×2万円)/年 事務局組織運営費・・ 約1,500万円(事務局員3人)/年+ホームページ作成等事業費 500 万円(初年度)

【提案事業をすでに取り組んでいるところがあるか】

長崎県 「ながさき地域医療人材支援センター」事業 長崎大学に委託 独自のホームページもあり http://nemsc.jp/ 岐阜県 「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」 22機関 岐阜大学に委託 事務局 (岐阜大学医学部地域医療医学センター (CRM) 内 ホームページあり 他にも、沖縄県など、事務局を委託しているところあり。

イ 「医師確保計画(保健医療計画の一部)(素案)」(案)に関する意見の提出について (神病協発第528号・2020年1月15日)

神奈川県健康医療局保健医療部長からの照会に対し、委員(窪倉副会長)からの「地域枠医師」 及び「地域医療支援センター」などの意見と併せて3件の事項について、意見を提出した。

○「医師確保計画」への意見 公益社団法人神奈川県病院協会 副会長 窪倉 孝道

全国一律の医師偏在指数を用いた医師確保計画だけではなく、神奈川県の実情や現場の医師不 足感に対応した県独自の人口対比の試算法により医師の需給予測を行い、対策する試みは大いに 評価できる。

一方で、医師の偏在・不足対策への実効性ある切り札になり得る地域枠医師に関係する記載について、

① 地域枠医師に対する神奈川県キャリア形成プログラムと専門研修プログラムとの関係性の

内容

- ② 県内医師不足解消に係る司令塔となるべき地域医療支援センターの役割強化
- ③ 新専門医制度における地域枠医師への配慮を求める国及び日本専門医機構、基幹施設等へ の意見の反映がやや不十分であると思われるので意見したい。
- ① 地域枠医師に対する神奈川県キャリア形成プログラムと専門研修プログラムとの関係性の 内容について:
 - ア) 地域枠医師においては、医師法の規定やその歴史経過からして、義務年限内では県キャリア形成プログラムが専門医プログラムを包含する関係にあり、優先されるべきものである。
 - イ)よって、その関係性が、P147 に示される自治医科大学卒業生のごとく、P156 あたりに 図解で明示されるべきである。
 - ウ) そうした共通理解の上で、両者をどのように整合的に推進するかを議論すべきであるが、 その際に具体的で、重要となるのは、義務年限期間中の専門研修として保障された3年間 を除く地域医療実践と専門研修(の継続)・サブスペシャリティ―研修(おおよそ4年間)と の関係性であろう。
 - エ) P156-157 にあるこれに関連する記載を見ると、これらの解決のための基本的方策として、基幹施設が関連施設のグループ化を強化、横浜と川崎以外の関連施設との連携、中小病院等の医療機関を連携施設に加える、等々、新専門医制度における専門研修プログラムに依存した方策の域を出ない状況となっている。こうした手法では、指導医・専門医の配置が制約される中での限界性を突破できず、地域枠医師は新専門医制度に縛られて、医師不足や医師偏在を解消するための本来の役割発揮が不十分となることが否めない。また、P149 で示された「地域包括ケアに関わる医師の不足」の課題を解決することもできない。オ) 以上の問題を解決するために重要なのは、
 - ○大学医局に対置される「県庁医局」としての地域医療支援センターの指導的役割強化と、 ○新専門医制度における地域枠医師の自由度を保障する固有の専門研修プログラムやカリキュラム制の導入や保障であろう。
- ② 県内医師不足解消に係る司令塔となるべき地域医療支援センターの役割強化について: 地域枠医師・専門医養成に係る大学医局・医師不足地域の3者間の調整をしながら、キャリア形成支援と医師偏在・不足対策との整合性ある舵取りをする地域医療支援センターは、大局的立場から具体的な調整業務を担わなくてはならない。医師の偏在と不足に悩むところは、大方は新専門医制度での指導医や専門医が不足するところであろう。「県庁医局」として地域医療支援センターは、こうした地域枠医師が活躍すべき地域や医療機関の選定・優先順位付けに役割を発揮すべきであり、また、新専門医制度の制約を乗り越えてキャリア形成プログラムが生きるような具体策やコンセンサスつくりに役割を発揮すべきであり、その為に確保基金の利用も含めた体制強化を図るべきと考える。
- ③ 新専門医制度における地域枠医師への配慮を求める国及び日本専門医機構、基幹施設等へ の意見の反映について:

これまで、新専門医制度・プログラムが地域医療にどう影響しているかの観点から、その

改善を求めて地域医療対策協議会などを中心に全県的意見をまとめてきた。

その中で、定員問題の他、専攻医選考過程における地域枠医師の優先、地域枠医師へ配慮 した固有プログラムの検討、カリキュラム制の採用など、一定期間の地域医療への貢献が義 務化されている現状を考慮した内容となるよう、国及び日本専門医機構・基本領域の各学会・ 基幹施設に徹底させるべく意見してきた所である。

神奈川県内においては、こうした要請を神奈川県が主体となって、県内関係機関及び基幹施設等に行う立場にあるので、医師確保計画の中においてもこの重要課題をより丁寧かつ明確に記載し、地域枠医師の継続的確保と専門研修での自由度を高める独自の取り組みを進め、神奈川県キャリア形成プログラムと専門研修プログラムとの整合性を確保するべきと考える。

1 医師確保の施策の中で特に、県が直接主導的に取り組める「地域枠医師等の養成」の意義の明示

P156 の「施策」の冒頭に、「ア 地域枠医師等の養成」を掲げたことは、評価するが、何故、 地域枠医師が重要なのか、その意義を明確に記載してはどうか。

例えば、リード文を追加して、

「県が直接主導的に取り組むことができるという観点から地域枠医師制度の活用が、具体的かつ現実的な最有力手段です。こうしたことから、この制度を医師確保の軸にして、…本県で働く医師が、地域で働くことに意義と魅力を感じられるよう取組みます。」など

2 医師の働き方改革への対応の明示

医師の働き方改革への対応については、P160にコラムとして「関連労働規制の対応に向けて」の記述があるが、計画本文中では、P147の(3)及びP149の(3)、P159の(5)にある「勤務環境の改善と医師負担軽減の取組み」の中の記述に埋もれている。

医師確保にあたっては、この計画期間の4年間がまさに、本格的な働き方改革施行に向けた 準備(猶予)期間にもあたっており、重点的な取り組みが求められていると考えるべきである。 「医師の働き方改革へ対応」の言葉を見出しに掲げて、現在の内容も含め、これにふさわしい 内容を盛り込むべきと考える。

3 地域医療構想との関係

保健医療計画第3部の地域医療構想との関係については、P160のコラムに若干の記述があるが、「約1万床の増床が必要」と「見直しが可能」との認識など、記述の仕方が飛躍的なので、 わかる人にしか理解できない。もう少し丁寧な説明を記述したほうが良いと考える。

仮にコラムの中でだとしても、国が唱える「三位一体」を本県に即した理解ができるように、 最低限の記載は必要と思われる。

- (5) 新型コロナウイルス感染症に係る意見等 (Ⅱ-2-1 地域医療対策事業に記載)
 - ア 神奈川県コロナ関係ポータルサイト開設にあたっての意見(2020年3月10日)
 - イ 「医療崩壊を防ぐための神奈川モデル」に対する意見(2020年3月27日)

7 行政・政党・医療関係団体と 8 褒賞に関する件

の意見交換・懇談に関する件

(1) 行政・政党との意見交換

ア 神奈川県健康医療局

日時

(意見交換会 3回開催)

- ① 2019年4月3日(水)午後3時45分
- ② 2020年1月15日(水)午後4時45分 (予算要望)
- ① 2019年7月24日(水)午後4時

イ 自由民主党

(予算要望 県議会議員団ヒアリング) 日 時 2019年7月1日(月)午後3時35分

ウ 公明党

(予算要望 県議会議員団ヒアリング) 日 時 2019年7月29日(月)午後3時

(2) 医療関係団体との懇談

ア 神奈川県病院医療関係団体連絡協議会懇親会

日 時 2019年5月15日(水)午後5時30分

イ 地区病院協会長会議後懇談会

日 時 2019年11月6日(水)午後5時30分

ウ 愛知県病院協会との懇談会

日 時 2019年11月20日(水)午後5時30分

2019 年度表彰受賞者は次のとおりである。

アー神奈川保健衛生表彰

中沢 明紀(県立循環器・呼吸器病センター所長) 太田 史一 (太田総合病院 病院長) 小松 幹一郎 (小松会病院 病院長) 大友 正孝 (三ツ境病院 理事長) 魚瀬 由美子(藤沢御所見病院 事務局長)

イ 神奈川県救急医療功労者表彰 たちばな台病院 研水会平塚病院

ウ 神奈川県公衆衛生協会長表彰 通 (総合新川橋病院 理事長兼院長) 内海

Ⅱ 事業関係

1 総務経理・褒賞委員会

(1)委員会の構成

委員長(担当副会長)

窪倉 孝道 汐田総合病院理事長

委 員(担当常仟理事)

三角 隆彦 済生会横浜市東部病院長

松島 誠 松島病院理事長

小松幹一郎 小松会病院長

菅 泰博 麻生総合病院理事長(兼)病院長

委 員(担当理事)

長倉 靖彦 横浜掖済会病院名誉院長

平元 周 横浜総合病院理事長

細川 治 横浜栄共済病院長

内海 通 総合新川橋病院理事長

事業委員(幹事)

中村 基樹 松島病院局長代行

事業委員

北川 剛 横浜掖済会病院事務部長

(2)委員会等の開催状況

ア 第1回総務経理・褒賞委員会(書面会議) 内容

協議事項

(ア) 2019 年度「病院の事務長等に 関する表彰」の候補者選定について

(3) 会員の慶弔

ア 祝電・生花等

- 横浜鶴見リハビリテーション病院竣工式典日時 2019年5月22日(水)午前12時場所横浜鶴見リハビリテーション病院
- ・神奈川リハビ、リテーション病院が、ラント、オープ、ン記念式典日時2019年9月8日(日)午前10時場所神奈川県総合リハビ、リテーションセンター
- ・寒川病院創立 50 周年記念祝賀会 日 時 2019 年 10 月 19 日(土) 17 時 30 分 場 所 寒川神社参集殿

イ 弔電・供花等

· 土屋 章 (医療法人社団 相和会 会長

·神奈川県病院協会 名誉会長)

2020年1月8日御逝去

お別れの会

日 時 2020年1月31日(金)午前11時

場 所 横浜ロイヤルパークホテル

(4) 懇談会

ア 第94回定時総会後懇談会

日 時 2019年6月19日(水)午後5時30分

場 所 横浜ベイシェラトンホテル

参加者 105名

イ 2020 年新年賀詞交歓会

日 時 2020年1月15日(水)午後5時30分

場 所 横浜ベイホテル東急

参加者 255名

(5) 事務長等表彰

会員病院における事務長等に対し、永きにわたり病院の運営に尽力され、かつ協会の発展のために功績のあった方々に対して表彰を行った。

日 時 2020年2月20日(木)午後4時

場所県病院協会役員室

表彰者 岡野 秀行(横浜鶴見リハビリテーション病院)

小松一則(神奈川リハビリテーション病院)

牛来 浩徳(麻生リハビリテーション病院)

水戸 秀男 (慶友会第一病院)

2 地域保健医療対策委員会

(1)委員会の構成

委員長(担当副会長)

窪倉 孝道 汐田総合病院理事長

委 員(担当常任理事 〇は主担当)

急性期担当

O三角 隆彦 済生会横浜市東部病院長

太田 史一 太田総合病院長

慢性期担当

○小松幹一郎 小松会病院長

篠原 裕希 クローバーホスピタル理事長

公衆衛生担当

O長倉 靖彦 横浜掖済会病院名誉院長

中沢 明紀 神奈川県立循環器呼吸器病

センター所長

地域包括ケア担当

○篠原 裕希 クローバーホスピタル理事長 鈴木 龍太 鶴巻温泉病院理事長 (兼) 院長 委 員 (担当理事)

澤井 博司 青葉さわい病院理事長

小澤 幸弘 三浦市立病院総病院長

八十川要平 相模原赤十字病院長

事業委員

伊藤 正行 太田総合病院事務局長

花岡 伸 小松会病院事務長

(2)委員会・講演会等の開催状況

ア 第11回地区病院協会長会議

日 時 2019年11月6日 (水) 午後4時

場 所 県総合医療会館4階会議室

出 席 18名

内容

議題

(ア)民法改正による入院保証人の件

(イ) 有床診療所の実態について

提案者 土屋 相模原市病会長

提案理由: 2点について各地区

の現状、今後の方向性等につい

て議論する。

- (ウ)病院の機能分化と進行について 提案者 長堀 三浦半島病院会長 提案理由:現状に則したとは言い難い、 4機能への分化は進みうるのか。
- (エ)神奈川県在宅医療推進協議会/神奈川 県地域包括ケア会議からの報告「入退 院調整ルールに係る検討状況について」 提案者 窪倉 県病院協会副会長 提案理由:病院が在宅医療や地域包括ケア の推進に関わってゆくにあたって、在宅分 野との入退院調整は、大変重要で、この推 進に係る背景を理解し、各地区での進捗を 県病院協会と各地区の病院協会長が共有 するのも有意義と考えるため。 報告

病床機能連携促進事業の取組み状況 その他

移動常任理事会について・・

イ 第 21 回神奈川県医師会と神奈川県病院協 会との意見交換会

日 時 2019年11月21日(木)午後6時

場 所 横浜ベイシェラトンホテル

出席 38名

内 容

議題

- (ア)「ACP・DNAR の考え方〜高齢者救急を見 据えて〜」(県医師会提案 篠原理事)
- (イ)「地域医療対策協議会・地域医療支援センター」の役割強化・体制支援について (県病院協会提案 窪倉副会長)

ウ 県民集会 国民医療を守るための神奈川県 総決起大会(神奈川県民医療推進会議主催)

国民皆保険制度を堅持し、最善の医療を提供する制度の実現に向け、県内の医療関係団体で構成する神奈川県民医療推進会議により県民集会を開催し、決議を採択した。

日 時 2019年12月17日(火)午後6時

場 所 県総合医療会館7階講堂

参加 180名

次 第

開会

主催者挨拶

基調講演

- ・「持続な可能な地域医療のために」 講師 県病院協会常任理事 沼田 裕一
- ・「平成から令和へ ~人生 100 年時代に おける社会保障~」

講師 県医師会理事 石井 貴士

意見交換

決議採択

閉会

工 神奈川県地域医療講演会

「地域の病院医療を将来に向けて守る

~ 人生 100 年時代における病院医療の 持続的発展のために ~」

2020年3月18日(水)に、開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止

(3) 事業等の概要

ア 医療情報の収集・提供及び周知

国及び県からの通知・情報等を会員病院へメール※1、ホームページ※2、FAX、郵送等により随時周知。

※1メールについて

①迷惑メールにかかる当協会としての 対処方針【周知方法:12月19日会員FAX 及びホームページ/12月26日DM 便/】

2019年12月10日より、当協会の名を騙った迷惑メールが一部の病院に送りつけられ、添付データを開封、接続するとウイルス感染の可能性があることが判明した。この状況を鑑み、12月18日の理事会において、迷惑メールに係る当協会としての対処方針を次のとおり決定した。

神奈川県病院協会を騙った迷惑メール への対処方針

1 メールによる全会員への一斉周知は行わないことを原則とします。

周知すべきことはホームページに掲載し、 必要に応じて閲覧いただく方法に改めさせて いただきます。なお、年内中に、より見やす いホームページにリニューアル予定です。

リニューアルいたしましたら、あらためて、 ご連絡いたします。

2 全会員に対する緊急のお知らせは、FA Xを使用します。

迷惑メールの発信元として表示されている アドレスは当協会とは無関係のものが多数で すが、代表メールアドレスが表示されている ケースも見受けられます。

そのため、これまで周知に使用してきた代表メールアドレス (info@k-ha. or. jp) は削除いたします。今後、このアドレスから情報発信することはございません。

なお、協会ホームページの「お問い合わせ フォーム」はホームページリニューアル後も 引き続き設置いたしますので、連絡の手段と してご活用ください。

会員の皆様方には大変ご不便とご迷惑をお かけいたしますが、ご理解くださるようお願 いいたします。

ご不明な点等がございましたら、事務局へ ご連絡くださるようお願いいたします。

②改めての注意喚起(当協会の名を騙った 迷惑メールについて)【周知方法:1 月 22 日 DM 便及びホームページ】

昨年12月10日より、当協会の名を騙った迷惑メールが一部の病院に送りつけられている件につきまして、「対処方針」は裏面のとおりFAX等でお知らせしたところですが、改めて注意喚起のご連絡を申し上げます。

迷惑メールアドレスの大半は、info@k-ha.or.jpです。

このアドレスは迷惑メールの発生に伴い、12月16日以降は使用しておりません。

お手数ではございますが、対策の一つとして、 貴院のサーバーやパソコンにおいて、「info®ー ha. or. jp」を「迷惑メール」にご登録いただく ようお願いいたします。

- ・事務局で把握している迷惑メールの件名は、 「請求書の件です」「請求書送付のお願い」「ご 入金額の通知・ご請求書発行のお願い」「賞与 支払届」です。また、1月に入ってからは「会 議開催通知」の件名も送られています。
- ・当協会からは、請求書等のデータをメール で送ることは一切しておりません。
- ・会議開催通知は、多くを郵送とFAXでお知らせしています。(メールでお送りする場合は、会議の正式名を表記し、担当職員のメールアドレスからお送りいたします。)

皆様にはご心配とご不便をおかけして誠に 申し訳ございませんが、何卒宜しくお願いいた します。

※2 ホームページについて

- 2020年1月にリニューアル
- ・ 情報を分かりやすく伝えられる よう、デザインや構成を改善
- セキュリティ機能強化のため、 URLを変更

イ 医療通訳派遣システム事業の推進

外国籍患者が安心して医療を受けられるよう、MICかながわ、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、かながわ医療通訳派遣システム自治体推進協議会と協定を締結し、医療通訳派遣システム事業運営に協力。

ウ 児童虐待事案の防止及び適切な対応

神奈川県警察及び神奈川県医師会との「児 童虐待事案の対応に関する覚書」(平成19年 8月7日締結)に基づき児童虐待事案の防止 及び適切な対応について連携。

エ 新型インフルエンザ対策

新型インフルエンザ等対策特別措置法に 基づく指定地方公共機関として、2020年1月 15日の訓練に参加。業務計画に基づき、会員 と対策本部員による情報伝達訓練を実施。

オ 県民の健康増進対策

- ・令和元年度がん克服シンポジウム 実行委員会に参画し、がん検診の普及、が ん予防、がん医療に関する情報提供を行う。
 開催日 2020年1月18日(土)
 会 場 県総合医療会館7階講堂
- ・スモークフリー推進かながわ基金事業 受動喫煙の防止対策推進等のため、神奈川 県、県医師会等と共に基金を設立。イベント・ シンポジウム・広報等の普及啓発を図る。 開催日 2019年5月28日他 会 場 横浜公園他
- ・健康チャレンジフェアかながわ2019 実行委員会に参画し、健康増進の取組を 推進するイベントを開催。 開催日 2019年11月30日(土) 会 場 クイーンズサークル

カ 医師及び看護師等求人情報サイトの運営

- (ア) 医師求人情報の掲載100 施設(2020年3月末日現在)
- (イ)看護師等求人情報の掲載175施設(2020年3月末日現在)

2-1 地域医療対策事業

(1) 地域医療構想関係

- ア 神奈川県が設置する検討機関への参画
 - 地域医療構想調整会議
 - ・地区保健医療福祉推進会議 (2019年度は各地域で3回開催) 県病院協会推薦委員

横浜地域

窪倉副会長

川崎地域

菅常任理事

相模原地域 八十川理事

三浦半島地区 長堀副会長

湘南東部地区 数野副会長

湘南西部地区 鈴木常任理事

県央地区

高原常任理事

県西地区

南常任理事

・神奈川県保健医療計画推進会議 (2019年度は3回開催) 県病院協会推薦委員 窪倉副会長

イ 2019 年度病床機能分化・連携促進事業 (事業主体:神奈川県 受託:県病院協会)

目的

地域医療構想区域(以下「地域」という。) における病院等の医療機関や、医療関係者 等が連携しながら、地域の医療機関の役割 分担等についての意見交換等を進めるほか、 地域医療構想の推進に向けた地域の自主的 な取組みや連携を促すことを目的とする。

支援対象

地区病院協会(法人格のない「病院会」な どの団体を含む)

地区への支援限度額

上限 400,000 円

平成30年度事業総額

1,956,077円(受託料総額は1,799,600円 残りは当協会負担)

支援対象事業

- A 地域の公式調整会議の事前・事後などの情報 共有・意見交換等で、地域の行政機関と調整の うえ実施するもの(除く行政機関主導の横三、 湘南、県央、県西) → 医療機関間の意見交 換の場の開催
- B 構想の推進に向けて必要な、当該地域の状況 を共有するための組織化・検討会・講演会・勉 強会等(全地域)→ 検討会・勉強会等の開催
- C 地域内でのアンケートなど調査事業(全地) 域) → その他の地域医療構想の推進に資す る取組みの実施

結果報告

医療機関間の意見交換の場の開催

地域	地区病	回数	開催日	
			2019年	
			6月10日 (月)	
			6月13日 (木)	
			6月25日 (火)	
			7月4日(木)	
			7月5日(金)	
	横浜市		7月11日 (木)	
横浜	病院協会	14	7月23日 (火)	
	7F3F7GWZZ		11月13日(木)	
			11月15日(金)	
			11月19日 (火)	
			11月21日(木)	
			11月25日 (月)	
			11月28日 (木)	
			11月29日(金)	
川崎		2	2019年	
北部/	川崎市		10月23日(水)	
南部	病院協会		2020年	
用前			1月22日(水)	
	相模原市病院協会		2019年	
相模原			12月19日(木)	
		1	(2020年2月28日	
			にも予定していたが	
			新型コロナウイルス	
			の影響により中止)	

II.			2019年
		4	6月4日(火)
			8月19日(月)
	湘南 湘南西部 西部 病院協会		11月5日(火)
湘南			2020年
西部			2月4日(火)
			(2020年3月7日に
			も予定していたが新
			型コロナウイルスの
			影響により中止)

検討会・勉強会等の開催

地域	地区病	回数	開催日
横須賀 ・三浦	三浦半島病院会/ 鎌倉市医師会病院会	1	2019年 11月7日(木)
湘南東部	湘南病院協会	1	2019年 7月25日(木)
県央	大和・高 座病院協 会/厚木 病院協会	3	2019年 7月8日(月) 11月11日(月) 2020年 2月10日(月)
県西	小田原医 師会病院 会/足柄 上病院会	0	(2020 年 2 月 26 日 で予定していたが新 型コロナウイルスの 影響により中止)

ウ 病床機能転換支援セミナー(共催事業)

日 時 2019年10月1日(火)午後3時

場 所 県総合医療会館2階会議室

参加 30名

開催目的 回復期機能(回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟)への転換について、検討中あるいは関心のある医療機関などを対象に、検討にあたって押さえておくべきポイント・事例・補助金等の支援策等を紹介し、検討の参考としていただくため。

内 容

開会

講演

『『攻め』の病床機能転換 〜進化する医療 機能〜」

公益社団法人日本医業経営 コンサルタント協会 神奈川支部 株式会社アクシー専務取締役 坂口 悟 個別相談

(2) 地域医療支援センター関係

ア 地域医療支援センター運営委員会への参画

当協会役員から窪倉副会長(県病推薦)、 小澤理事(全自病推薦)が参画。地域におい て必要とされる医療を確保するため、県内 の医師不足の状況等を把握・分析し、医師の キャリア形成支援と一体的に医師不足病院 の医師確保の支援等を行った。

イ 神奈川の地域医療を語る会(協力)

日 時 2020年2月1日(土)午後2時

場 所 横浜シンポジア

参 加 66名

(地域枠学生 55 名、医師 11 名)

内容 神奈川県における地域枠の学生に 地域医療に関する意識啓発を行い、 将来地域医療を担う医師となるた めの動機づけの強化を目的とした 講演及び交流会

- 神奈川県の地域医療の現状
- ・地域医療連携に関する講演
- ・総合診療に関する講演
- ・パネルディスカッション

(3) 新専門医制度関係

ア 神奈川県医療対策協議会専門研修プログ ラム調整ワーキンググループへの参画

専門研修プログラムの認定に向けた関係者による協議会として県が設置したワーキンググループに窪倉副会長(当協会推薦委員)、仙賀顧問兼参与、金井理事が委員として参画。日本専門医機構による専門研修プ

ログラム認定に向けて、医師が偏在することなく専門医の質を高める体制が構築されるよう、確認、検討した。

- ○意見提出(当協会推薦委員 窪倉副会長)
- 1 2019年9月2日 議題「令和2年度の 専門研修プログラム」に対する意見(案) について
- ・・ 意見(案)はこれまでの神奈川県として の意見を踏襲した上で新たな状況に対応 した内容になっており基本的に賛成であ る。その上で以下に補足的意見を記す。

主要診療科である内科などを基に分析すると、神奈川県は新専門医制度における2020年度専攻医募集シーリングの対象にはならないが、2024年度の必要(推計)医師数に基づく年間養成数よりも格段に少ない専攻医募集定員で数年対応することを余儀なくされると思われることが大きな問題である。このままでは、今後作成予定の神奈川県医師確保計画を通じた医師不足と医師偏在の解消にも大きな影響を及ぼすことは必定である。

そこで、本意見の中で①2024年の必要 (推計)医師数に近づけるための目標や行程(ロードマップ)を示すことと、②専攻 医選考過程における地域枠医師などへの 配慮に関する意見を明記・強調したこと は大変重要な点と考える。

前者①は神奈川県の医師確保計画策定 における政策的空白を埋めるためにも重 要な点であり、後者②は医師確保と医師 偏在の解消を目指すための重要な国の事 業スキームである地域枠医師制度が新専 門医制度と適合するために非常に重要な ポイントだからである。

そうした点から言えば、前項②については、神奈川県にとっても喫緊の課題であるため、厚労省や機構へ意見するだけではなく、神奈川県内の基幹研修施設に対して、地域枠医師制度を与る神奈川県

当局として直接的に要望することも重要ではないかと考える。専門医制度新整備指針には「原則として研修プログラム制による研修を行うものとする」と記される一方で、「地域医療従事者など、相当の合理的理由がある医師などで、・・・一定の条件下に(筆者要約)、・・・柔軟な研修カリキュラム制による研修を行う等、柔軟に対応を行う」と明記されている。しかしながら、内科をはじめとする各基本領域でのプログラム整備基準にはこのことが反映されていないことがほとんどであり、機構頼みだけでの困難打開は難しいと予想できるため。

以上、意見します。

イ 2020年1月24日 議題「医師法第16条 の8の規定に基づく専門研修に関する協議 に基づく意見照会

照会1「日本専門医機構から提示された 『専門医制度新整備指針(第三版)(案) について』」

・・ 地域枠医師は医師偏在や不足に対して 重要な役割を担うことが期待されており、 医療法に定められたキャリア形成プログラムの中での研修と診療の二面的課題が 位置づけられている。そうした枠組みの中では、新専門医制度における専門研修 プログラムがより柔軟に機能することが 地域枠医師にも地域医療にとっても重要である。

今回、日本専門医機構から提示された 専門医制度整備指針の改定案では、地域 枠専攻医に関して機構が各都道府県や各 基本領域学会に対する適切な要請ができ ることが明記され、研修カリキュラム制 の位置づけ、研修年限の延長の可能性、専 門研修指導医が在籍しない施設での研修 が地域医療を考慮して必要となる場合の 「関連施設」の枠組みの提起等、地域枠医 師と地域医療への配慮が各所に見られる ことは評価できる。これらの実効性を担保する機構の役割が重要である。

ついては、専門医の更新認定において も、5年を原則とするものの、特定の理由 のために専門医の更新が困難な場合の更 新延長事由に、「地域枠医師としての義務 履行」を明記し、専門医制度における地域 枠医師の活躍の自由度を高めることを担 保し、キャリア形成プログラムの執行が より円滑に行われるように配慮されたい。

照会2「日本専門医機構から提示された サブスペシャルティ領域専門研修細則 (案) について」

・・ 医師確保計画を策定する際の重要課題 の一つに、地域枠医師に対するキャリア 形成プログラムと専門研修プログラムと の調和の問題がある。その為には、前述 の通り、基本領域での専門研修プログラムの自由度を高める工夫が大変重要であるが、サブスペシャルティ領域との連動 研修などが大きなテーマになれば、専門 研修全体がタイトになり、キャリア形成 プログラムとの調和や整合性が崩れかねない。

サブスペシャルティ領域専門研修においても、様々な地域枠医師への配慮を通して、地域医療の確保や医師偏在対策に対して逆行することのないよう対策をしていただきたい。

イ 令和2年度県予算の編成に際しての要望(2019年7月1日付)

次年度の予算要望において、「地域で働く 医師 (地域枠医師)の養成・確保について」、 県へ要望した

(要望は I -6 総務・経理に関する件に記載)

(4)神奈川県医療課との意見交換

第1回

日 時 2019年4月3日(水)午後4時

場 所 県総合医療会館2階会議室 参 加 役員等 42名、県医療課2名

内 容 2019 年度の地域医療行政に係る トピックなど

- 1 地域医療構想の推進
- (1) 病床の機能分化・連携
- (2) 医療連携 (病診、在宅)、医療介護 連携
- (3) 地域医療連携推進法人 他
- 2 医師確保対策
- (1) 国の医師偏在指標、都道府県の医師 確保計画(今後)
- (2) 医師就学資金、地域枠医師
- (3) 専門医制度 他
- 3 医療従事者の勤務環境改善
- (1) 働き方改革への対応(医師、医師 以外)
- (2) 人材面での地域経営戦略(採用、 キャリアパス)
- (3) 看護師、リハ職、SW等のタスクシ フト&シェア、キャリアパス、処遇
- 4 その他
- (1) 医療ツーリズムと地域医療の調和
- (2) 訪日外国人への医療提供体制 他
- 5 意見交換

第2回

日 時 2020年1月15日(水) 午後4時45分(理事会内で開催)

場 所 横浜ベイホテル東急

内 容 2020 年の地域医療行政に係る トピックなど

- 1 地域医療構想の推進
 - 病床の機能分化・連携
 - ・医療連携(病診、在宅)、医療介護 連携、患者情報、PHR
 - ・公立・公的医療機関の再検証要請 対応
 - ・基準病床数の中間見直し検討年
- 2 医師確保対策
 - 医師確保計画

- 地域枠医師、医師修学資金貸付金
- 臨床研修制度、専門医制度関係
- 3 医療従事者の勤務環境改善
 - ・医師の働き方改革、病院のABC 区分、AI等テクノロジー活用
 - ・看護師、リハ職、SW等のキャリア パス、タスクシフト、事務補助者
 - ・人材採用、ジョブローテ等における 地域経営戦略
- 4 その他
 - ・2020 東京オリンピック・パラリンピック
 - ・医療ツーリズムと地域医療との調和、 訪日外国人観光客への医療提供 体制
 - ・衛生看護専門学校第二看護学科
- 5 意見交換

(5) 医療ツーリズム関係

ア 医療ツーリズムと地域医療との調和に 関する検討会・医療ツーリズム検討ワーキン ググループ

医療ツーリズムが地域医療に与える影響 や課題を整理し、これらの課題への対応、地 域医療との調和に向けた仕組み等を検討す るため、県保健医療計画推進会議の部会及び 川崎地域 地域医療構想調整会議のワーキン ググループとして県が設置。

当協会は新江会長、窪倉副会長、三角常任理事、太田常任理事の4名を委員に推薦。

2019年1月31日の第1回会議で新江会長 が検討会の会長に就任。2019年度内に3回の 会議を経て、検討結果を報告書として取りま とめた。

- · 2019年5月17日(金)第2回会議
- · 同8月22日(木)第3回会議
- ・ 同 9月 検討会中間報告の取りまとめ
- 同 11月11日 県知事、川崎市長の連名 で「医療ツーリズムと地域医療との調和に 向けた国のルールを整備することを求める

要望」を厚生労働大臣あてに提出

- · 2020年2月5日(水)第4回会議
- ・ 2020年3月 報告書取りまとめ

(6) 地域医療介護総合確保基金関係

ア 令和2年度国・県予算の編成に際しての 要望(2019年7月1日付他)

・次年度の予算要望において、厚生労働省・財務省及び県へ「地域医療介護総合確保基金の地域の実情に応じた配分への見直しについて」要望した

(要望は I-6総務・経理に関する件に記載)

イ 地域医療介護総合確保促進法に基づく令 和2年度神奈川県計画の策定に向けた意見

医療分 協会提案事業 2 件 提出日:2019 年 7 月 24 日 (意見は I -6 総務・経理に関する件に記載)

(7) 新型コロナウイルス感染症関係

ア 新型コロナウイルス感染症に係る当協会の 当面の対処方針

(2020年2月19日第10回常任理事会で決定)

- 1 新型コロナウイルス感染症対策本部を設置する。
 - ・・対策本部の構成: 会長、副会長全員、 地域保健医療対策委員会 公衆衛生担当 常任理事
- 2 新型インフルエンザ等対策業務計画を 一部準用し、当面、「国内発生早期」の扱い により対応する。
- イ 新型コロナウイルス感染症対策本部会議 第1回会議 2020年2月27日(書面会議) 議題 3月4日(水)の会議開催等について

第2回会議 2020年3月31日 (書面会議) 議題 4月1日 (水) の会議開催(三役会 議・新型コロナ対策会議) について

ウ 神奈川県健康医療局との意見交換

2020年3月4日の第10回理事会において、 県健康医療局より、「新型コロナウイルス感染 症に係る対応等について」説明を受けるととも に、意見交換を行った。

エ 緊急調査 新型コロナウイルス対策医療資 材の確保 及び 看護師ローテ等病院の医療提 供体制への影響調査 (2020年3月9日)

調查実施期間(依頼~締切):

2020年2月28日 ~ 3月2日 回答数:194 回答率: 67.8% 調査依頼(鑑文より抜粋):

現在、新型コロナウイルス感染症は国内発生 早期の時期ですが、長期に亘るクルーズ船への 対応などもあり、医療資材のひつ迫している状 況が生じています。この状況を把握し、国・県 に必要な要望等を行うため調査を実施します。

また、休校に伴い、看護師等、病院職員確保 の問題も生じておりますので、あわせて影響を お伺いいたします。

なお、当協会では、新型インフルエンザ等対 策業務計画を準用し、新型コロナウイルス感染 症対策本部を2月19日に設置したところであ り、今回の調査は業務計画に基づく重要業務と して実施するものです。

調查項目:

- 1 医療資材について
- 2 休校に伴う、看護師ローテ等、職員の 確保状況について
- 3 その他

調查結果:

協会ホームページ (会員専用サイト) に掲載

オ コロナ関係ポータルサイト開設にあたって の意見

サイト開設にあたり、県新型コロナウィルス 感染症対策本部より照会があり、下記の意見を 提出した。(2020年3月10日)

「コロナ関係ポータルサイト開設に あたっての意見 (回答)」

本日照会のあったことについて、次のとおり、回答します。

また、この回答に併せ、3月4日にも会員病院のアンケート結果とともに口頭要望いたしましたが、県民への医療提供を継続するために、県内医療機関のマスク等医療資材の確保について、緊急・最優先かつ全力を挙げて取り組まれるよう、改めて強く要望いたします。このことについては、多くの病院から毎日のように、当協会に困ったという声が寄せられています。今後、予想される感染期のフェーズ移行にあたり、一般の市中医療機関が、いざというときに機能しない事態に陥ることがないようにするためにも、重要なことですので、県の対策本部の取り組みでも最重要してください。

次に、照会本題のホームページポータルサイトについては、一般の県民が見るページであることに鑑み、拙速に進めるのではなく、次のことを反映したうえで、慎重かつ正確で誤解のない情報が掲載されるようにしてください。

- 1 県民向け「窓口」をよりわかりやすく このポータルサイトの目的が県民向けであ ることから、相談窓口は、各保健所等であり、 まずそこに相談が行われるよう徹底すること また、そのためにも、サイトの左側のインデッ クスの順番の2番目にある「医療機関の状況」 を、下から3番目、「知事からのメッセージ」 の次にすること
- 2 個々の病院の状況の公開は慎重を期すこと 外来・入院の制限の有無と病院の電話番号、 ホームページの URL について、必ず各病院に個 別に公開の可否を確認し、了解した病院のみの 公開とすること

その際、3で述べる病院の誤解がないよう徹 底すること。 3 医療機関(病院)の状況について、誤解の解消 「通常」「受け入れ制限」「停止」の3つのステータスについて、県民には意味がわかりにくい うえに、病院の側も受け止めが様々なので、定 義づけをより明確にすること

そうした誤解がないカテゴライズをしたう えで、繰り返し凡例にも正しく記述した方がよ い。

「受け入れ制限」というのは「風邪などの症状での新規の外来受入れの制限で、他の疾病は、制限していない」ことなのか、どういった内容の受け入れ制限なのか。

一方「通常」というのは、「風邪・発熱 (肺炎) 症状」でも普通に受け入れるのか。

県の状況把握と、医療機関側の解釈がすれ 違っていないのか。

また、仮に、肺炎様の患者を受け入れている ところでも、あらかじめ患者が病院に電話で連 絡をとるなどのプロトコルが必要なので、誤解 のない表現が求められる。

県から医療機関に送られている「日次調査シート」では、外来・入院・救急等での「受入制限」が選択肢にはいっているが、備考欄にその理由が記入できることのなっており、ここには様々な理由や状況があると思われる。

ところが、一律(通常・受入れ制限・停止・なし)の中から一つが表示されるようになると、 特に、受入れ制限や停止については、変な風評 被害につながる恐れがあると思われる。

4つのカテゴライズでの表示で公表することが、正しく情報を伝えられるのか、再検討する必要がある。

以上、短い時間での回答なので、最低限の意見ですが、よろしくご高配のうえ、適切な対応をお願いします。

上記(2020年3月10日の当協会の意見)を 受け、県医療課による回答(3月11日会員FAX 周知)

内部で調整した結果、貴会から回答書にて

ご指摘いただいた点について、「1」の県民向 け窓口をよりわかりやすくという点につきまし ては、ご指摘を踏まえて修正対応をさせていた だきました。

「2」の各病院の了解については、本日各病院に対する確認を終えていますが、本日お聞きした限りでは反対をされる病院はありませんでした。

仮に、明日になり、やはり控えてほしい、 というご回答があった場合は、当然そのように 対応いたします。

「3」の、医療機関の状況に関するステータスについてですが、わかりにくい、誤解をしやすいというご意見をいただき、検討した結果、「受け入れ制限」を「一部制約あり」に修正させていただきました。あわせて、それぞれのステータスを説明するための凡例を追加しました。

そのうえで、本件につきましては、(電話でも申し上げましたが) 知事、副知事が是非進めたいと言っている取組であり、局内でも検討した結果、緊急対応性という観点からも、ホームページの運用につきましては、予定通り明日(11日水曜日)からとさせていただくことといたしました。

なお、ご指摘いただきました点につきまして は、健康医療局内でも共有をしており、状況に 応じて、適宜内容の修正をしてまいりますの で、ぜひご理解をいただくとともに、今後もご 指導ご鞭撻をいただければと存じます。

カ 地区病院協会との意見交換会

日時 2020年3月18日(水)午後4時15分場所 県総合医療会館4階会議室 出席 21名 内容

挨拶

意見交換(新型コロナウイルス感染症について)

・地区病院協会に対する情報の提供状況 (国からの通知等ではなく、相談センター の件数、接触者外来受診数、PCR 検査実

施数など)

- ・地区病院協会と行政・保健所や医師会との 意見交換の機会の有無
- ・陽性患者の入院病床の確保状況 (行政・病院協会・病院間同士の連携)
- ・病院の視点での現時点での懸念事項 (物資、人材、経営等の面において)
- ・PCR検査の保険適用に伴う保健福祉事務 所からの依頼について (帰国者・接触者外来の設置)
- その他

キ「医療崩壊を防ぐための神奈川モデル」に 対する意見

3月27日に神奈川県庁で「新型コロナウイルス感染症拡大による医療崩壊を防ぐための会議」が開催された。県知事、県内7市町の首長、県医師会長及び新江会長が出席し、当協会として意見書を提出した。

「医療崩壊を防ぐための神奈川モデル」に 対する意見

1 基本認識

今後の患者の拡大局面で県内の医療崩壊を 防ぎ、県民の命を守るためには、神奈川県の「中 等症患者の重点医療機関への集約」という提案 を真摯に受け止め、これを出発点にして、関係 者が叡智を結集し実現する必要があると認識 している。また、その際には、次の点に留意し て進めていただきたい。

2 神奈川県の現状の評価と課題への対応

(1) ダイアモンドプリンセス号感染者への地域の対応の評価

200 人以上もの患者を、感染症指定医療機 関だけでなく、県内各地の病院や救急隊で、 どう受け止めてきたか、また、その経験から、 課題になった点を明確にし、対応する必要が ある。

なお、フェーズが進むことで、ダイアモン

ドプリンセスのときと状況が違うことには、 十分に留意し、特に、すでに医療従事者の疲弊と医療資材が枯渇状態に陥っていること への対応は、全力で取り組まれるようお願い する。

(2) 保健所・保健福祉事務所の公衆衛生上の 拠点機能の明確化と体制強化

保健所が地域の公衆衛生のコントロール タワーとして機能しなければ、新型コロナと は戦えない。はっきり言って通常時の保健所 は、そのままでは人員・体制的に余りに弱す ぎるので、相当なてこ入れが必要である。

(3) 医療圏ごとに医療関係者の調整機能を有する会議体の設置

保健所をコントロールタワーに、地区病院協会や郡市医師会など地域医療構想調整会議構成員の行政・医療関係者が「顔の見える関係で力を合わせ」られるように「地域医療コロナ対策会議(仮称)」を二次医療圏ごとに構成し、地域を基本にして対応・調整をする必要がある。

(4) 全県の総合調整機能を有する体制整備

二次医療圏を基本に対応しつつ、立ち上げや大変動時など、医療圏だけでは対応できないことも多々生じてくることが十分に想定される。量的・質的に広域的な対応を要する事態に迅速に手立てを講じ、医療圏毎の体制が崩壊しないよう、県が強力かつ機動的にサポートする体制を整備する必要がある。

「神奈川県調整本部」には、そうした役割を 担ってもらい、地域のできないことに重点を おくべきと考える。

3 PCR 検査の優先順位と基準

検査対象者の優先順位を定める必要がある。 その際、特に医療機関及び福祉施設の業務継続 及び集団感染抑止の観点から、医療等関係者を 優先する扱いを明確にするべきと考える。

さらに今後蔓延期には、陽性患者が急増する

ため、無症状、軽症患者は自宅や、医療機関ではない施設でのモニタリングとなるが、モニタリング方法、回復の判断、症状悪化時の迅速な 入院搬送など、明確な基準を設定する必要がある。

4 病院に対する財政支援

感染症指定病院の多くが公立病院であり、一 定の財政措置が当然必要となるが、公立病院以 外の病院が役割を担う場合に、診療報酬・公費 負担ではまかなえない費用に財政支援をして いただきたい。

また、重点医療機関のみならず、民間病院に対して、この仕組みに連携・協力する病院が、特別な費用負担や減収する際には補償されるようお願いしたい。

5 県民の理解と、市中の診療所・処方箋調剤薬 局の理解と協力

行政と病院だけでは、拡大・蔓延期の医療提供体制は維持できない。罹患しても在宅対応を 余儀なくされる県民の理解と同時に市中の診療所・処方箋調剤薬局が、電話再診や重篤化した際の対応なども含め、納得できる新型コロナへの対応方策を早急に定め、理解と協力を得る必要がある。

まとめとお願い

新型コロナ感染症の入院治療には、通常の何倍もの神経 (ココロ)、ヒト・モノ・カネ・スペースがかかります。

ともに戦う病院と、折れずに頑張っている医療従事者 (コロナファイターズ) への応援をお願いします!!

ク 神奈川県感染症対策協議会への参画

2020年3月19日開催

当協会推薦委員 小松常任理事 出席

感染が拡大した場合を想定し、重症者患者に優先的に対応するため、入院・外来を一般医療機関に拡大する対応案 と拠点となる医療機

関を設定する対応案等について議論された。

ケ 会員への周知・情報提供

国、県の通知等、内容等に応じて、協会ホームページ(新型コロナウイルス感染症サイト)のほか、FAX、DM便で周知した。

FAXで提供した(重要性、緊急性の高い) ものは以下のとおり(2020年3月31日迄)

- ① 2020年1月16日「新型コロナウイルスに 関連した肺炎患者の発生について
- ② 2020 年 3 月 11 日「神奈川県ホームページ 新型コロナウイルス感染症対策サイトにつ いて」
- ③ 2020年3月13日「国による、医療機関向けマスク配布の動きについて」

(8) その他

・セーリングワールドカップ 2019 江の島大会 の医療支援に関する協力

WSC江の島大会実行委員長等より依頼を受け、大会該当地域の地区病院協会(湘南病院協会、鎌倉市医師会病院会、三浦半島病院会)会長宛て、協力を依頼した。

3 学術委員会

梅田 弘之 全国病院理学療法協会 神奈川県支部会執行委員長

(1)委員会の構成

学会長(会長)

新江 良一 横浜鶴見リハビリテーション 病院長

委員長(担当副会長)

長堀 薫 横須賀共済病院長

委 員(担当常任理事)

沼田 裕一 横須賀市立うわまち病院管理者

高野 靖悟 相模原協同病院長

三角 隆彦 済生会横浜市東部病院長

菅 泰博 麻生総合病院理事長兼病院長

委 員(担当理事)

小澤 幸弘 三浦市立病院総病院長 牧田 浩行 神奈川県立足柄上病院長

山田健一朗 平塚市民病院長

事業委員(幹事)

荒木 洋 古川病院事務局長

事業委員

玉井 拙夫 神奈川県予防医学協会医師

植木八千代 横浜市立脳卒中・神経脊椎

センター事務部長

大嶋 一郎 横須賀共済病院事務部長

毛利 元和 藤沢脳神経外科病院事務長

藤田 寛 神奈川県医療ソーシャル ワーカー協会長

片川 一之 神奈川県医療専門職連合会長

藤井理恵薫 神奈川県栄養士会医療事業部

会長

尾花由美子 神奈川県看護協会常務理事

髙崎 智彦 神奈川県公衆衛生協会理事

錠内 広之 神奈川県作業療法士会長

池田 陽子 神奈川県精神保健福祉士協会長

金田 光正 神奈川県病院薬剤師会長

大内。幸敏。神奈川県放射線技師会長

佐藤 史子 神奈川県理学療法士会長

片川 一之 神奈川県臨床検査技師会長

小林 剛志 神奈川県臨床工学技士会長

(2)委員会等の開催状況

ア 第1回学術委員会(書面審議)

日 時 2019年5月15日(水)

内 容

協議事項

第38回神奈川県病院学会について

(ア) 学会開催日、開催場所、テーマ、内容

イ 第2回学術委員会

日 時 2019年7月29日(月)午後4時15分

場 所 県総合医療会館 4 階第一会議室

出席 22名

内 容

報告事項

- (ア)第37回神奈川県病院学会 開催結果、 アンケート結果
- (イ) 2019 年度第1回学術委員会(書面審議) 結果について
- (ウ)特別講演(講師など)
- (エ) 第38回神奈川県病院学会 チラシ及 びポスター

協議事項

第38回神奈川県病院学会プログラムについて

- (ア) プログラム(案)
- (イ) 一般演題 (演者のグループ分け及び座 長)
- (ウ) シンポジウム (シンポジスト)
- (エ)運営協力員の役割分担
- (オ) 学会長表彰について

今後のスケジュール(案)について

(3) 事業等の概要

ア 第38回神奈川県病院学会

日 時 2019年10月16日(水)午後1時

場 所 神奈川県立かながわ労働プラザ

学会テーマ

病院の働き方改革 Part2

協力団体

(公社)横浜市病院協会 (公社)川崎市 病院協会 (公社)相模原市病院協会 三浦半島病院会 鎌倉市医師会病院会 湘南病院協会 湘南西部病院協会 厚木病院協会 大和・高座病院協会 小田原医師会病院会 足柄上病院会 (公社)神奈川県医師会 神奈川県医療 専門職連合会 (一社)神奈川県医療 ソーシャルワーカー協会 (公社)神奈川 県栄養士会医療事業部会 (公社)神奈川 県看護協会 神奈川県公衆衛生協会 (一社)神奈川県作業療法士会(一社)神奈川 県精神保健福祉士協会 (公社)神奈川県 病院薬剤師会 (公社)神奈川県放射線技 師会 (公社)神奈川県理学療法士会 (一社)神奈川県臨床検査技師会 (一社) 神奈川県臨床工学技士会 (公社)全国病 院理学療法協会神奈川県支部

参加者数 213 名

内訳 医師 26名

看護師・保健師 38名

薬剤師 13名

臨床検査技師 11名

臨床工学技士 6名

(診療)放射線技師 17名

理学療法士 8名

作業療法士 5名

言語聴覚士 1名

(管理)栄養士 13名

ソーシャルワーカー(PSW 含む) 7名

心理士 1名

事務 56名

その他 11名

内 容

・開会の辞副会長 長堀 薫

・学会長挨拶

会 長 新江 良一

• 来賓挨拶

神奈川県健康医療局技監兼保健医療部長 前田 光哉 (健康医療局長代理) 神奈川県医師会長 菊岡 正和

・特別講演

「医療危機:高齢社会とイノベーション」 講師 中央大学大学院戦略経営研究科 教授 真野 俊樹 座長 県病院協会副会長 長堀 薫

•一般演題(口演発表)

グループ1

座長 神奈川県立循環器呼吸器病センター 副看護局長 鴫原 まゆみ (県看護協会)

①「介護福祉士キャリアラダー完成に至る まで〜めざす東部病院介護福祉士像を 基盤に〜」

済生会横浜市東部病院 看護部 脳神経センター 村岡 大樹

②「説明しやすく、理解しやすい検査説明 用紙 下部内視鏡検査における前処置 がより分かりやすい説明用紙を目指し て」

金沢文庫病院 外来内視鏡室藤森 京子

- ③「チューブ類抜去減少に向けた取り組み―インシデント KYT を活用して―」 新中川病院 看護部 田口 和代
- ④「働きやすい環境をつくるための職種間 交流の取り組み」 横須賀共済病院 看護管理科 宮田 久美子
- ⑤「カフ型カテーテルの日常管理評価表について~透析用カテーテルを安全に使うために~」 相模原協同病院 医療技術部 臨床工学室 仙洞田 桃子

グループ2

座長 けいゆう病院 看護師長 鈴木 加菜子 (県看護協会)

①「当院看護部における働き方改革~キャ リアアップに繋げる業務改善への試み ~」

青木病院 看護部 岩木 和子

②「相互機能を理解し連携・協働できる部署を目指して―ローテーション体制導入の効果―」 構須賀共済病院 R棟 8 階病棟

横須賀共済病院 B棟8階病棟 透析センター 鈴木 明子

- ③「患者と向き合うためにAI を活用した音 声自動入力ができる電子カルテの開発」 横須賀共済病院 ブランド推進室 千葉 由美
- ④「看護教育科における業務の可視化と共有による業務効率性の向上」 神奈川県立足柄上病院 看護局 曽我 輝之
- ⑤「急性期病院における退院支援看護師と MSWの協働」 横須賀共済病院 地域連携センター 総合相談退院支援室 知久 広美

グループ3

座長 神奈川県立がんセンター 栄養管理科 部長 藤井 理恵薫 (県栄養士会医療事業部会)

- ①「タイムマネジメントに着目した業務 整理の取り組み」 横浜旭中央総合病院 栄養科 石毛 瞳
- ②「栄養科内の業務量調査と業務の軽減 工夫について」 さがみリハビリテーション病院 栄養科 田村 亜希子
- ③「給食業務の内製化における栄養科の 取り組み」

日本鋼管病院 栄養科 岸本 朋子 座長 クラブハウスすてっぷなな 野々垣 睦美 (県作業療法士会)

- ④「CI 療法実施患者の麻痺手の使用状況 に関する退院後調査」 沙田総合病院 リハビリテーション課 鳥谷 未沙希
- ⑤「就労・復職を目的として医学リハビリテーションを行った高次脳機能障害者の退院直後~1年後の動向調査~」 汐田総合病院 リハビリテーション課中村 法央

グループ4

座長 三浦市立病院 総病院長 小澤 幸弘(県病院協会)

①「2025年に向けて二次医療圏の現状と課題」

相模台病院 事務部 由利 千智

- ②「医師の就労管理から見える今後の展望と課題〜時間外労働における多面的アプローチ〜」 済生会横浜市南部病院 人事課 小島 勇人
- ③「業務を減らして成果を上げる 逆説 的業務改善の取り組み」 済生会横浜市東部病院 医事企画室 金城 悠貴
- ④「病院の働き方改革〜医事課〜」東名厚木病院 医事課田中 秀和
- ⑤「画像診断・病理結果の有所見を診療に 反映させる対策とその効果」 横浜南共済病院 医事課 坂詰 ゆかり

グループ5

座長 横須賀共済病院 中央検査科 主任 片川 一之 (県臨床検査技師会)

- ①「ABI・PWV 検査における同時相測定法 および一回測定法の比較検討」 相模原協同病院 医療技術部 臨床検査室 原 あすか
- ②「先進的病理診断の実践と応用―より 効果的な運用を中心に―」 日本鋼管病院 病理検査技術科 松井 成明
- 座長 川崎市立病院 放射線診断科 引地 利昭(県放射線技師会)
- ③「安心して働ける職場環境を目指して」 金沢文庫病院 放射線科 市川 望智
- ④「働き方改革 高額装置の破損防止から」済生会横浜市東部病院 放射線部松尾 清邦
- ⑤「他施設間ビームマッチングについて」東名厚木病院 放射線技術科杉田 浩章
- ⑥当院のDWIBS の取り組み東名厚木病院 放射線技術科小野沢 辰之

グループ6

- 座長 平塚市民病院 病院長 山田 健一朗(県病院協会)
- ①「医師事務作業補助の対応標準化を目 指す取り組みについて」 済生会横浜市東部病院 事務部 医療支援課 MA室 冨永 亜紀
- ②「DPC 病院での精神疾患の状況〜うつ病中心に〜」

相模台病院 事務部 由利 智子

- ③「病院中堅職員のノンテクニカルスキルを向上させる試み―「3つの-tion研修」の実践から―」 済生会横浜市東部病院 人材開発センター 人材開発支援室 西川 泰弘
- ④「診療情報の保存のあり方について一放射線科外来診療録の電子カルテへ移行を通して一」

横浜南共済病院 事務部 田畑 智美

- 一般演題(ポスター発表)グループ1
 - 座長 東海大学医学部付属病院 看護師長 森 悟子(県看護協会)
 - ①「働き続けられる職場環境の構築を目 指して〜多様な職務形態を支える外来 部門の取り組み〜」 横須賀市立うわまち病院 看護部 椎名 一美
 - ②「ストレスチェック集団分析結果をふまえた職場環境改善の取り組み」 神奈川県立足柄上病院 看護局 田中 純子
 - ③「精神科病院におけるメンタルヘル スケアの取り組みと今後の展開」 横浜相原病院 心理療法科 藤田 良子
 - ④「イキイキと働ける職場づくり〜笑顔 で緩和ケア・3年 project 始動〜」 金沢文庫病院 看護部 後藤 直美
 - ⑤ 「B 型肝炎ワクチン接種率向上の取り組み〜勤務での感染対策における安全・安心の要素として〜」 太田総合病院 感染対策室 野地 広美
 - ⑥「A病院が取り組む看護師と退院支援 護師のタスクシフト〜退院支援看護師 に焦点を当てて〜」 クローバーホスピタル 地域連携室 浅川 陽子
 - 座長 北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科 渡邊 裕之(県理学療法士会)
 - ⑦「リハビリ部門が取り組む働き方改革 〜組織改革の取り組み〜」 クローバーホスピタル リハビリテー ションセンター 土居 忍
 - ⑧ 「左前頭葉内側の髄膜種摘出後、対側上

下肢に重度弛緩性麻痺を呈した一例~ 補足運動野の賦活を目的とした両側性 交互運動を用いた介入効果の検討~」 相模原協同病院 医療技術部 リハビリテーション室 古園 健人

- ⑨「卒前・卒後教育の連携により効果的な 臨床実習をすすめるためには」 さがみリハビリテーション病院 リハビリテーション科 加藤 太一 座長 湯河原病院 栄養管理室 藤井 信也(県栄養士会医療事業部会)
- ⑩「チーム医療での管理栄養士の役割と その効果について」 さがみリハビリテーション病院 栄養科 山崎 友里
- ①「食物経口負荷試験に基づく栄養指導が、多品目の食物アレルギーの寛解に有用だった1例」相模原協同病院 医療技術部栄養室 内藤 敦子

グループ2

- 座長 関東労災病院 中央検査部 主任検査技師 小田 憲一 (県臨床検査技師会)
 - ②「当院における輸血後感染症検査実施率 向上への取り組み」 沙田総合病院 検査科 加納 千尋
 - ③「当院検査科における働き方の工夫」 横須賀共済病院 中央検査科 難波 真砂美
- 座長 東海大学医学部付属病院 杉本 拓 (県病院薬剤師会)
 - ④「当院のエダラボン使用状況と投与期間 中における腎機能への影響」相模原協同病院 医療技術部 薬局 山岸 奨之
 - ⑤「リハビリテーションカンファレンス に参加する薬剤師に他職種が期待す ることは何か?」

相模台病院 薬剤部 八城 瑞穂

- ⑩「PFM における薬剤師業務の実績報告」 横須賀共済病院 薬剤科 島田 雅人
- ①「手術室における薬剤管理について」小田原市立病院 薬剤科綾部 由紀乃
- 座長 湘陽かしわ台病院 事務部長 鈴木 通 (県病院協会)
 - (®「MRI プロトコル見直しによる検査効率 向上への寄与」 相模原協同病院 医療技術部 放射線室 栗原 惇
 - ⑨「外部委託先を活用した医師看護師薬剤師等への働き方改革への取組と効果」 済生会横浜市東部病院事務部 内田力
 - ② 「医師事務作業補助者による NCD 登録の取り組み」 済生会横浜市東部病院 事務部 医療支援課 MA 室 山下 真弓
 - ② 「病院における臨床研修医の重要性 東名厚木病院 臨床研修部 深谷 有美
 - ②「自社サイトを活用した医師招聘 そ の戦略と成果〜医師採用の安定化と募 集費の削減について〜」 川崎幸病院 医師招聘部 紀平 浩幸
- ・シンポジウム「病院の働き方改革」 座長 県病院協会理事 牧田 浩行 シンポジスト(推薦団体/発表内容) 麻生総合病院 理事長兼病院長 菅 泰博 (県病院協会/医師の時間外労働問題へ の取り組み) 湘南鎌倉総合病院 リハビリテーション科 根本 敬 (県理学療法士会/"働きたい病院"をめ ざして)

平和病院 看護部 原 久美 (県看護協会/看護職の働き方改革) 横浜栄共済病院 放射線技術科 江川 俊幸 (県放射線技師会/働き方改革と働きや すい職場をめざして〜神奈川県内、診療 放射線技師の組織概要より~) けいゆう病院 臨床検査科 森山 亨 (県臨床検査技師会/臨床検査技師会と しての業務移管への取り組み〜実態調 査結果を踏まえて~)

- ・学会長表彰 会長 新江 良一
- ・閉会の辞 常任理事 沼田 裕一

学会長表彰者

一般演題(口演発表)の部 3名 鈴木 明子 横須賀共済病院 小島 勇人 済生会横浜市南部病院 西川 泰弘 済生会横浜市東部病院 一般演題(ポスター発表)の部 2名 土居 忍 クローバーホスピタル 紀平 浩幸 川崎幸病院 シンポジスト(感謝状) 5名 菅 泰博 麻生総合病院 理事長兼病院長

根本 敬 湘南鎌倉総合病院 リハビリテーション科

原 久美 平和病院 看護部長

江川 俊幸 横浜栄共済病院 放射線技術科

森山 亨 けいゆう病院 臨床檢查科

運営協力職員 (所属団体)

司会係 荒木 洋・植木八千代 (県病院協会) 荒木 裕美(県医療専門職連合会)

進行係 川尻あゆみ・佐藤作喜子 (県栄養士会医療事業部会) 本間 雅士・根岸 大輔 (県病院薬剤師会) 押田 好美・大脇 豊美 (県臨床検査技師会)

受付係 佐藤 智恵 (県看護協会) 梅田 弘之・小堺 文明 (全病理 神奈川県支部会)

演者係 大嶋 一郎・山本 毛利 元和 (県病院協会)

会場係 玖島 弘規・須崎可奈子 (県作業療法士会) 深井 遙方・山口 綾菜 (県理学療法士会)

吉田 誠司(県看護協会)

パソコン・マイク係

石川 綾子・上原 嘉子 (県医療ソーシャルワーカー協会)

福田 大祐・坂井 優仁 (県精神保健福祉士協会)

写真係 西山 謙一・門松 (県臨床工学技士会) 佐藤 英俊・金岩 清雄 松本 好正 (県放射線技師会)

イ 神奈川県病院学会誌第38号の発行 学会の発表を取りまとめた学会誌を発行し、 発表者等学会関係者、会員、地区病院協会などに 配布した。

4 教育研修委員会

(1)委員会の構成

委員長(担当副会長)

長堀 薫 横須賀共済病院長

委 員(担当常任理事)

沼田 裕一 横須賀市立うわまち病院管理者

委 員(担当理事)

金井 歳雄 川崎市立川崎病院長

委 員(担当幹事)

荒木 洋 古川病院事務局長

事業委員

山田修相模ケ丘病院理事長兼管理部長

鈴木 通 湘陽かしわ台病院事務部長

丘 真樹 丘整形外科病院事務部長

牛来 浩徳 麻生総合病院統括事務

部長補佐

(2)委員会等の開催状況

ア 2019 年度病院管理研修事前打合せ会

日 時 2019年5月8日(水)午後4時30分

場所県病院協会会議室

出席4名

内 容

報告事項

平成 30 年度の病院管理研修実施報告につ

いて

検討事項

2019 年度の病院管理研修について

イ 助言者事前打合せ会

日 時 2019年8月22日(水)

場所県病院協会会議室

出席6名

内 容

- (ア) 現在までの申込み状況等について
- (イ) グループ討議の進め方について
- (ウ) 司会進行の分担について
- (エ) その他
 - ・今後準備すべき事項等について

(3) 事業等の概要

ア 2019 年度(第48回)病院管理研修

実施目的

病院における管理・運営及び経営等について専門的な研修を実施し、病院運営に携わる管理者・責任者の業務遂行能力の向上を図るとともに、病院の効率的な運営と経営管理の充実、強化に資する。

対 象

病院の専門職・事務職の管理部門に従事 する者、近い将来管理者として期待される 者等

※上記の「病院の専門職・事務職の管理 部門に従事する者」の職種とは医師、 看護師、薬剤師、検査技師、療法士等、 リハビリテーション関連及び地域連携 室、病院事務等の幅広いメディカルス タッフです。

イ 日程表

月日	時間	内容	講師
	13:30~14:00	開講式	
9月12日 (木)	10.00 11.00	オリエンテーション	
			神奈川県病院協会 助言者
	14:00~15:00	グループディスカッション	荒木 洋・山田 修・中村 洋爾
(/1-)			鈴木 通・丘 真樹・牛来 浩徳
	15:15~16:45	「クレーマーの心を掴む、	ケルビム法律事務所
L	13.13 -10.43	クレーム対策」	所長 高須 和之
			神奈川県病院協会 助言者
	10:30~12:00	グループディスカッション	荒木 洋・山田 修・中村 洋爾
0 2 0 7 0			鈴木 通・丘 真樹・牛来 浩徳
9月27日 (金)	13:35~15:05	 ~働き方改革への最適対応策~	株式会社ブレイン・サプライ
(3827	13.33 13.03		代表取締役 岡 弘己
	15:45~17:15	看護・介護の人材確保	淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科
	10.40 -11.10	~介護職員がいなくなる~	教授 結城 康博
	14:00~15:30	メンタルケアを中心とした	横浜相原病院
10月11日	14.00 -10.00	リスクマネジメント	院長 吉田 勝明
(金)	15:45~17:15	178床の赤字病院の経営再建	公益社団法人医療・病院管理研究協会
	10.4011.10	までの軌跡	理事 中村 彰吾
		病床機能転換と急性期削減の20	
10 11 10 11	14:00~15:30	在世診療想酬み完た月垠ラた介	(株)今瀬コンサルティング 所長
10月18日 (金)			
(36)	15:45~17:15	医療学会の課題	上尾中央総合病院
		佐原女王の課題	特任副院長 長谷川 剛
	10:30~12:00	グループディスカッション	神奈川県病院協会 助言者
			荒木 洋・山田 修・中村 洋爾
10 00 0			鈴木 通・丘 真樹・牛来 浩徳
10月29日 (火)	13:30~15:00	多様な働き方に対応する	アイ・パートナーズ社会保険労務士事務所
	19:90. ~ 19:00	就業規則の活用について	特定社会保険労務士 三島 理佐
	15:15~16:45	BCPについて	株式会社フォーサイツコンサルティング
	10.10 -10.40	The state of the same of the state of the st	執行委員 五十嵐 雅祥
	14:00~15:30	個人情報保護について	情報セキュリティ大学院大学
11月8日	14.00 ~15.50	四八	学長補佐・教授 湯淺 墾道
(金)	15:45~17:15	入退院支援の実際	東海大学医学部付属病院
			入退院センター主任 堤 千賀子
	14:00~15:30	地域財産として看護師の確保と 定着を考える	汐田総合病院
11月18日 (火)			副院長・統括看護部長 小田 明美
		2020年医療報酬改定をふまえた 病院経営	東日本税理士法人
			所長 長 英一郎
	13:30~15:00	医療メディエーション :対話による関係調整	早稲田大学大学院法務研究科
			教授 和田 仁孝
11月28日 (木)	15:15~16:45	グループディスカッション	神奈川県病院協会 助言者
			荒木 洋・山田 修・中村 洋爾
			鈴木 通・丘 真樹・牛来 浩徳
ļ	16:45~17:00	閉講式	

ウ 受講者名簿 ①全日程(専任者)

のエ ロ	住(号仕有)		
No	氏 名	施設名	役 職 名
1	浅田 浩明	川崎幸病院	コメディカル部リハビリテーション科科長
2	本田 晴子	佐藤病院	看護師長
3	村越 怜	東名厚木病院	財務課
4	上條 靖司	川崎市立多摩病院	総務課・係長
5	丸山 泰由	済生会横浜市東部病院	事務部医療情報課診療情報管理室室長
6	矢内 昭一	京浜総合病院	理事・事業本部長
7	小西 正人	中央林間病院	メディカルクラーク兼クラーク室診療情報管理室課長
8	大島 裕次郎	大和徳洲会病院	資材課 係長
9	木田 裕介	藤沢脳神経外科病院	事務・事務長補佐
10	淀 潤一	済生会神奈川県病院	予防医療課・係長
11	佐藤 利枝	横浜東邦病院	医事部・主任
12	桜田 幸子	川崎市立多摩病院	医療情報部主事
13	今村 智子	さがみ生協病院	管理部・事務長
14	田上 暁典	たま日吉台病院	総合支援室・主任
15	有山 和茂	大和徳洲会病院	医事 係長
16	安齊 克也	川崎幸病院	事務部資材課 課長
17	島崎憲一	済生会神奈川県病院	経営企画課・係長
18	佐藤 あゆみ	総合新川橋病院	事務部(診療情報管理課)・主任
19	熊谷 貴博	済生会横浜市東部病院	人事室 主任
20	小磯 晃生	川崎市立多摩病院	医事課課長
21	川崎 努	日本鋼管病院	事務局総務室・室長
22	秋山 泰志	たま日吉台病院	総務課・主任
23	尾崎 進哉	小澤病院	事務部 部長
24	山下 尚子	大和徳洲会病院	事務部 事務長
25	武末 昌也	相模台病院	医療情報管理課課長

②全日程 (病院単位)

	宝(奶奶中心)
. No	施設名
1	クローバーホスピタル
2	海老名総合病院
3	オアシス湘南病院
4	丘整形外科病院
5	東名厚木病院
6	相模ヶ丘病院

エ 実施結果

①全日程(専任者)

申込者実人数	25 名
受講者実人数	25 名
修了者実人数	25 名
皆出席者実人数	10 名

②全日程 (病院単位)

申込施設数	6 施設
受講施設数	6 施設
修了施設数	6 施設
皆出席施設数	2 施設
受講者延人数	94 名

③科目別

5 調查委員会

(1)委員会の構成

委員長(担当副会長)

数野 隆人 藤沢脳神経外科病院理事長

委 員(担当常任理事)

新納 憲司 大口東総合病院理事長

委 員(担当理事)

井上 元保 伊勢原協同病院長

委 員(担当理事)

中野太郎相模原中央病院長

事業委員 (幹事)

伊藤 稔 湘南中央病院統括事務部長

事業委員

石田憲一郎 大口東総合病院事務局長

松本 進 育生会横浜病院事務長

(2) 事業等の概要

ア 2019 年度調査

依頼日 2020年2月5日(水)

締切日 2020年2月28日(金)

調査目的

本調査は、神奈川県病院協会会員の労務 管理を資するため、定期昇給等並びにモデ ル職種(医師及び看護師)の基準内給与の 実態を把握することを目的とする。

対 象

2020年1月1日現在 本会加入286 病院 集計方法

経営主体を、医療法人、医療法人以外の 2 区分に、また、200 床以上、200 床未満 の2 区分に分けて集計を行った。

金額など記入漏れや不可解なものについては除外し、金額の平均値を取り、これを採用した。

調査結果

2020年4月9日付で会員に報告書を送付した。

回答状况

1 H 1/1/00			
回答数	回答率		
定期昇給等調査			
57	19.9%		
53	18.5%		
モデル職種別平均給与月額			
57	19. 9%		
57	19.9%		
	57 53 月額 57		

6 保険医療対策委員会

(1)委員会の構成

委員長(担当副会長)

数野 隆人 藤沢脳神経外科病院理事長

委 員(担当常任理事)

沼田 裕一 横須賀市立うわまち病院管理者 高原 和享 湘陽かしわ台病院理事長

委 員(担当理事)

土屋 敦 渕野辺総合病院理事長

事業委員 (幹事)

持丸 幸一 相模台病院事務部長

事業委員

武田 国弘 医療法人相和会(渕野辺総合病院)医療企画部長

有泉 義一 湘南ホスピタル事務部長

秋山 貴志 東名厚木病院診療情報管理室副部長

(2) 委員会等の開催状況

ア 診療報酬改定説明会にかかる関東信越 厚生局神奈川事務所との打ち合わせ

日時

①2019年7月12日(金)午後3時

②2020年2月4日(火)午後3時

場所

関東信越厚生局神奈川事務所

イ 会場打ち合わせ

日時

2019年12月25日(水)午後3時

場所

神奈川県立音楽堂

(3) 事業等の概要

ア 日本医療法人協会神奈川県支部総会後 研修会の共催

日 時 2019年7月3日(水)午後4時15分

場 所 県総合医療会館7階講堂

参加 225名

内 容

講演

「安全で良質な医療の提供を目指して 一個別指導及び適時調査の現状 一」

講師 東京医科大学 医療保険室室長/国際 診療部部長 関東信越厚生局 保険指導医 葦沢 龍人

イ 令和2年度診療報酬改定説明会

2020年3月24日(火)に、神奈川県立音楽 堂で開催を予定していたが、新型コロナウイ ルス感染症の感染拡大防止のため、中止

6-1 医事研究部会

(1) 部会の構成

部会長

持丸 幸一 相模台病院事務部長

副部会長

武田 匡弘 医療法人相和会(渕野辺総合病院)医療企画部長

部会委員

有泉 義一 湘南ホスピタル事務部長

秋山 貴志 東名厚木病院診療情報管理室 副部長

杉浦 浩 総合病院湘南病院医事課長

野中 義哲 鶴巻温泉病院事務次長

伊藤 正行 太田総合病院医事務局長

望月 稔之 山近記念総合病院事務長

小笠原一志 小田原循環器病院医事課長

吉川 利通 湘陽かしわ台病院医事課長

(2) 部会等の開催状況

ア 第1回医事研究部会

日 時 2019年5月21日(火) 午後1時

場所県病院協会会議室

出席8名

内 容 2019 年度事業について

①第1回医事研究会 (ワークショップ) について

②第2回医事研究会(2020年保険改正に向けて~施設基準の留意点~)について

イ 第2回医事研究部会

日 時 2019年6月18日(火)午後1時

場所県看護協会会議室

出席 10名

内 容 第1回医事研究会 (ワークショップ) について

ウ 第3回医事研究部会

日 時 2019年9月10日(火)午後3時

場所県病院協会会議室

出席8名

内 容 第2回医事研究会 (2020 年保険改 正に向けて~施設基準の留意点 ~) について

エ 令和2年度診療報酬改定説明会開催に あたっての打合せ

日時(3回実施)

- ・2020年1月30日(水)午前10時
- •2020年3月17日(火)午前10時
- ・2020年3月26日(木)午前10時

場 所 県病院協会会議室

(4)事業等の概要

ア 第1回医事研究会(ワークショップ)

日 時 2019年8月23日(金)午前10時

場 所 県総合医療会館 1 階会議室AB (入院)、2 階会議室A(外来)

参加者 38 施設・69 名

内 容 入院と外来に係る診療報酬算定に ついてのワークショップ

- ① 開会挨拶·計議方法説明
- ②グループ討議
- ③各グループからの発表
- ④出題者からの解説及び質疑応答

イ 第2回医事研究会 (2020 年保険改正に向けて~施設基準の留意点~)

日 時 2019年12月18日(月)午後2時

場 所 県総合医療会館 7階大講堂

参加者 97 施設 141 名

内 容 診療報酬改正に向けての留意点

①主催者挨拶

②研修会

・「医療安全に係る施設基準について~医療安全管理者の役割と関わり~」

渕野辺総合病院 質・安全対策室 副室長 富山 麗子

- ・「感染対策における施設基準」 太田総合病院 感染対策室 感染管理認定看護師 野地 広美
- ・「医師事務作業補助体制加算」 「介護医療院~"医療保険"と"介護 保険"」 「データ提出加算について~データ 作成時における注意点~」 保険医療対策委員会

医事研究部会

7 救急・防災対策委員会

(1)委員会の構成

委員長(担当副会長) 吉田 勝明 横浜相原病院長

委 員(担当常任理事)

中沢 明紀 神奈川県立循環器呼吸器病 センター所長

窓田 裕一 横須賀市立うわまち病院管理者南 康平 丹羽病院理事長・院長

委 員(担当理事)

山下 巌 東名厚木病院長

石原 淳 横浜市立市民病院長

山本 裕司 藤沢湘南台病院長

事業委員(幹事)

江原 正恭 社会医療法人社団三思会(東名 厚木病院)理事長室長

事業委員

小林 章利 川崎市立多摩病院事務部長

折登 剛 済生会横浜市東部病院事務 部長代行

横溝 克明 神奈川県立循環器呼吸器病 センター事務局長

ア 第6回愛知県病院協会と神奈川県病院協会 II-2-1 地域医療対策事業に記載 との交流・連携会議

日 時 2019年11月20日(水) 午後3時30分

場 所 県総合医療会館4階会議室 出 席 17名 (神奈川10名・愛知7名)

内容

- (ア) 会長挨拶
- (イ) 出席者自己紹介
- (ウ) 情報交換
 - 医療ツーリズムについて
 - ・医師確保対策について
 - ① 医師偏在指標・医師確保計画等 の状況
 - ② 地域医療支援センター等の効果

的運用

・地域医療構想について (自主的連携体制の構築について)

(2) 県主催事業の共催・協力

ア 令和元年度災害時医療救護活動研修会 の共催

開催 第1回 2019年6月28日(金) 第2回 2019年7月25日(木) 開催場所 県総合医療会館7階講堂 参加人数 第1回 260名 第2回 193名

(平成30年6月6日会員周知「平成30年度災害時医療救護活動研修会の周知について」)

イ 令和元年度 神奈川県・医療機関の災害 時医療情報伝達訓練

・・広域災害救急医療情報システム(EM IS)を活用した訓練(2020年2月17日)の開催を予定し、会員に周知したがについて、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止

※新型コロナウイルス感染症に関する対応は、II-2-1 地域医療対策事業に記載

8 病院従事者対策委員会

(1)委員会の構成

委員長(担当副会長)

長堀 薫 横須賀共済病院長

委 員(担当常任理事)

高原 和享 湘陽かしわ台病院理事長

松島 誠 松島病院理事長

高野 靖悟 相模原協同病院名誉院長

委 員(担当理事)

相原 道子 横浜市立大学附属病院

北川 博昭 聖マリアンナ医科大学病院

髙橋 寛 昭和大学藤が丘病院

事業委員(幹事)

畑 宏明 横須賀共済病院事務部長 事業委員

中村 基樹 松島病院局長代行

(2)会議、研修会等の開催状況

ア 神奈川県病院医療関係団体連絡協議会

日時 2019年5月15日(水)午後4時

場所 神奈川県庁新庁舎

構成 会長 梅田弘之(全病理神奈川県支部 長) 県医療ソーシャルワーカー協会、 県看護協会、県看護部長会、県作業療 法士会、県栄養士会医療事業部会、県 病院薬剤師会、県放射線技師会、全国 病院理学療法協会県支部会、県理学療 法士会、県臨床検査技師会、県臨床工 学技士会、県健康医療局、県病院協会

内容

- (ア) 挨拶 県病院協会会長 新江 良一
- (イ) 来賓紹介 黒岩県知事
- (ウ) 団体紹介
- (工) 意見交換会

イ 神奈川県看護協会との意見交換会

日時 2019年11月25日(水)午後4時

場所 県総合医療会館6階 看護協会会議室

出席 11名

議題

1 県病院協会

- (ア) 令和2年度 国・県への要望事項の概要
- (イ) 情報交換(看護職員の需給について・ 働き方改革等)

2 県看護協会

- (ア) 災害支援ナースの活動の実際と育成支援 について
- (イ) 病院と連携した訪問看護師出向事業に ついて

その他

・令和2年度神奈川県病院学会について

ウ 第17回大学・同付属病院と県下病院との 連携に関する意見交換会

2020年3月4日(水)の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため延期。開催にあたり、テーマである「働き方改革」について、事前アンケートを行った。

エ 医療従事者の勤務環境改善のための研修会 及び宿日直・研鑽関係通知説明会

主催神奈川県、神奈川労働局

共催 神奈川県医師会、神奈川県病院協会

日時 2020年1月21日(水)午後2時

場所 横浜シンポジア

参加 187名

内容

- 1 研修会及び説明会
 - ・宿日直・研鑽関係通知に関する説明 神奈川労働局 労働基準部監督課
 - 医師の働き方改革の最前線
 - 一規制側と臨床医、双方の視点から~横浜市大産婦人科(厚生労働省「医師の働き方改革の推進に関する検討会」構成員) 鈴木 幸雄
 - ・両講師による意見交換及び質疑応答
 - 2 労務経営相談会及び労働局個別相談会

(3) 令和元年度神奈川県看護職員認知症対応力 向上研修への協力

受託団体(かながわ健康財団)の周知等に協力

9 医療安全対策委員会

(1)委員会の構成

委員長(担当副会長) 吉田 勝明 横浜相原病院長

委 員(担当常任理事)

松井 住仁 長田病院理事長

委 員(担当理事)

峰野 元明 ふれあい鎌倉ホスピタル病院長 事業委員 (幹事)

江原 正恭 三思会(東名厚木病院) 理事長室室長

事業委員

平林 智治 平塚共済病院事務部長 酒井 篤史 横浜相原病院事務長

(2) 委員会の開催状況

神奈川県医療安全対策事業実行委員会

委員長

吉田 勝明(神奈川県病院協会副会長) 副委員長

川田 剛裕(神奈川県医師会理事) 橋本 真也(神奈川県薬剤師会副会長)

委員

尾花由美子(神奈川県看護協会常務理事) 神部 哲哉(神奈川県歯科医師会常任理事) 足立原 崇(神奈川県保健福祉局 保健医療部医療課長)

ア 2019 年度第1回神奈川県医療安全対策 事業実行委員会

日 時 2019年7月31日(火)午後5時場 所 県総合医療会館4階 神奈川県病院協会会議室

内容

- (1) 実行委員会委員長・副委員長の選任に ついて
- (2) 令和元年度神奈川県医療安全推進セミナーの開催について
- (3) 令和元年度神奈川県医療安全推進セミ

ナー収支予算について

(4) その他

(3) 事業等の概要

ア 神奈川県医療安全推進セミナー

日 時 2019年10月6日(日) 午後2時~5時

場 所 県総合医療会館7階講堂 参加者 232名

次 第

主催者挨拶

実行委員会委員長 吉田 勝明 セミナー

講演I

「我が国の医療安全の歩みを振り返る」 東京女子医科大学医学部医療安全科 教授 寺崎 仁

講演Ⅱ

「新しい医療安全へのアプローチ:レジ リエンス・エンジニアリング」 大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 教授 中島 和江

閉会

神奈川県薬剤師会 会長 鵜飼 典男

10 広報委員会

(1)委員会の構成

委員長(担当副会長)

長堀 薫 横須賀共済病院長

委 員(担当常任理事)

太田 史一 太田総合病院長

委 員(担当理事)

鳴海 裕之 寒川病院長

徳田 博正

徳田病院長

事業委員(幹事)

平林 広康

近藤病院事務長

事業委員

高野 昇平 横須賀市立うわまち病院

事務次長

武田 朋久 済生会神奈川県病院

事務部長代行

(2)委員会等の開催状況

ア 第1回広報委員会

日 時 2019年10月2日(水) 午後3時45分~

場所県病院協会会議室

出席6名

内 容

報告事項

(ア) 平成30年度事業について

協議事項

- (7) 2019 年度事業(案) について
- (イ) 會報第50号の編集方針(案)について

(3) 事業等の概要

ア 會報第50号の発行

(2019年3月13日発行)

巻頭言

「會報50号の節目に」

常任理事 長倉 靖彦

役員紹介

グラビア

- · 2020 年病院協会新年賀詞交歓会
- ・2019 年度スポーツ大会
- ・第38回神奈川県病院学会

- ·第48回病院管理研修
- ・2019 年度事務長等表彰式

「医療メディエーション:対話による関係調 整」 早稲田大学大学院法務研究科

教授 和田 仁孝

随

「変化を進化に 進化を笑顔に」

湘南西部病院協会 会長 鈴木 龍太 「医療者として大切に思うこと」

県病院薬剤師会 会長 金田 光正

「神奈川県病院協会会員のみなさまへ」

県歯科医師会 会長 松井 克之

「ソーシャルワーカーとしての振り返り」

県医療ソーシャルワーカー協会

会長 藤田 寛

「神奈川県看護部長会のこれから」

神奈川県看護部長会 会長 田中 龍子

「我が家に"こたつ"がやってきた」

済生会神奈川県病院

事務部長代行 武田 朋久

寄稿

「めだかの学校」

大内病院 相談役 大内 忠行

「人体修理」

虎の門病院分院 病院長 宇田川 晴司 会員病院紹介

- ・横浜鶴見リハビリテーション病院
- · 大和徳洲会病院
- ・山内病院

かながわ散歩

ようこそ神奈川へ! 観光客向け絵巻き 寿司教室

編集後記 常任理事 太田 史一

広告掲載 21 社

表紙写真 「白鷺(シラサギ)」

撮影 常任理事 長倉 靖彦

イ「理事会だより」の発行(年10回発行)

理事会の主な議事結果を会員に周知した。

11 厚生福祉委員会

(1)委員会等の構成

ア
厚生福祉委員会

委員長(担当副会長)

吉田 勝明 横浜相原病院長

委 員(担当常任理事)

松島 誠 松島病院理事長

委 員(担当理事)

宮川 政久 宮川病院理事長(兼)院長 池島 秀明 湘南泉病院理事長

事業委員(幹事)

横山 伸泰 鹿島田病院事務局長事業委員

川原 哲司 聖マリアンナ医科大学 人事課主査

中村 基樹 松島病院局長代行

イ 野球大会実行委員会

(事業委員及び実行委員で構成※実行委員のみ表記)

実行委員

小笠原 勉(賛助会員)

林 進一(大口東総合病院)

鈴木 清(賛助会員)

ウバレーボール大会実行委員会

(事業委員及び実行委員で構成※実行委員のみ表記)

実行委員

宮下 伸一(横浜バレーボール協会)

エ ボウリング大会実行委員会(事業委員で構成)

(2)委員会等の開催状況

ア
厚生福祉委員会

(書面審議 2019年4月24日付)

内 容

- (ア) 2019 年度スポーツ大会の開催について
- (イ) 2019 年度スポーツ大会の参加料につい て

(ウ) 2018 年度スポーツ大会報告

イ 第62回野球大会第1回実行委員会

日 時 2019年5月14日(火)午後4時

場所県病院協会会議室

出席6名

内 容

- (ア) 第61回野球大会について
- (イ) 第62 回野球大会の開催及び運営について
- (ウ) 今後の日程について

ウ 第62回野球大会第2回実行委員会

日 時 2019年6月22日(土)午前9時30分

場 所 県病院協会会議室

出席6名

内 容

- (ア) 第62回大会の運営について
- (イ) 主将会議・開会式について

エ 第51 回女子バレーボール大会第1 回実行 委員会

日 時 2019年6月22日(土)12時30分

場所県病院協会会議室

出席3名

内 容

- (ア) 第50回大会について
- (イ) 第51回大会の運営について

オ 第48回ボウリング大会第1回実行委員会

日 時 2019年6月22日(土) 12時15分

場所県病院協会会議室

出席3名

内 容

- (ア) 第47回ボウリング大会について
- (イ) 第48回ボウリング大会の運営について

(3)事業等の概要

ア 第62回野球大会主将会議

日 時 2019年6月22日(土)午前10時30分

場 所 県総合医療会館2階会議室

参加 20名

内 容

- (ア) 第 62 回神奈川県病院協会野球大会の 運営について
- (イ) 組み合わせ抽選会
- (ウ)注意事項について

イ 第62回野球大会開会式

日 時 2019年6月22日 (土) 主将会議終了後

場 所 県総合医療会館2階会議室

参加 20名

内 容

- (ア) 開会挨拶
- (イ)優勝旗ならびに優勝楯返還
- (ウ) 選手宣誓
- (工) 閉会挨拶

ウ 第62回野球大会

開催期間

2019年7月15日(月)~8月25日(日)

開催場所

- ・あすか製薬株式会社川崎事業所グラウンド
- ・富士通厚木総合グラウンド
- 大磯運動公園

参加チーム

全29チーム

(一部15チーム 二部14チーム)

参加者数 485名(延べ人数)

成績

第一部 優 勝 神奈川県厚生連

相模原協同病院

準優勝 戸塚共立第1病院

第3位 昭和大学横浜市北部病院

同 福井記念病院

第二部 優 勝 みくるべ病院

準優勝 東戸塚記念病院

第3位 横浜相原病院

同 横浜第一病院

エ 第51回女子バレーボール大会

日 時 2019年9月8日(日) 午前8時50分

場 所 聖マリアンナ医科大学体育館

参加数 5 チーム(51 名)

成 績

優 勝 横浜市立みなと赤十字病院

準優勝 横浜なみきリハビリテーション 病院

第3位 横須賀市立うわまち病院

オ 第48回ボウリング大会

日 時 2020年1月12日(日)午前9時35分場 所 川崎グランドボウル 参加チーム

団体戦 21 チーム

個人戦 97名 (男子70名・女子27名)

成績

団体戦 優 勝 川崎協同病院

準優勝 小澤病院A

第3位 鹿島田病院A

個人戦男子 優 勝 石渡 悦郎

(川崎協同病院)

準優勝 池渕 隆司

(鹿島田病院)

第3位 小見渕伸正

(川崎協同病院)

個人戰女子 優 勝 橋村 有美

(小澤病院)

準優勝 相馬さとみ

(横浜栄共済病院)

第3位 小山 麻緒

(川崎協同病院)

(1)委員会の構成

委員長(担当副会長)

数野 隆人 藤沢脳神経外科病院理事長

委 員(担当常仟理事)

南 康平 丹羽病院理事長・院長

新納 憲司 大口東総合病院理事長

委員(担当理事)

今井 重信 湘南中央病院名誉院長

事業委員(幹事)

鈴木 通 湘陽かしわ台病院事務部長

(2)委員会等の開催状況

ア 第1回事業委員打合せ会(教育研修委員会 事業委員打合せ会と合同)

日 時 2019年5月8日(水)午後4時30分 場所県病院協会会議室

12 病院経営対策委員会 13 高齢者医療対策委員会

(1)委員会の構成

委員長(担当副会長)

数野 隆人 藤沢脳神経外科病院理事長

委 員(担当常仟理事)

鈴木 龍太 鶴巻温泉病院理事長

松井 住仁 長田病院理事長

委 員(担当理事)

角野 禎子 青木病院理事長兼院長

杉山 肇 神奈川リハビリテーション病院長

事業委員(幹事)

石川 達也 湘南長寿園病院事務部長 事業委員

玉木 和彦 田名病院事務長

花岡 伸 小松会病院事務長

田村 一浩 鶴巻温泉病院事務長

(2)委員会等の開催状況

ア 2019 年度高齢者医療対策委員会

(書面審議 2019年7月30日)

内容 2019年度一般向け講演会の 開催について

(3) 事業等の概要

ア 県民公開講座

日 時 2019年10月23日(水)午後1時

場 所 県総合医療会館7階大講堂

参加 163名

内 容

開催挨拶 委員長 数野 隆人 講演

「認知症のお話」

横浜相原病院 病院長 吉田 勝明

閉会挨拶 幹事 石川 達也

14 精神保健対策委員会

(1)委員会の構成

委員長(担当副会長)

吉田 勝明 横浜相原病院長

委 員(担当常任理事)

菅 泰博 麻生総合病院理事長(兼)病院長

委 員(担当理事)

山口 哲顕 港北病院理事長兼院長

事業委員(幹事)

酒井 篤史 横浜相原病院事務長

事業委員

山田 修 相模ケ丘病院理事長

奈良 孝一 港北病院事務長

(2) 事業等の概要

(2019 年度は高齢者医療対策委員会と共催)

ア 県民公開講座(再掲)

日 時 2019年10月23日(水)午後1時

場 所 県総合医療会館7階大講堂

参加 163名

内容

開催挨拶 委員長 数野 隆人

講演

「認知症のお話」

横浜相原病院 病院長 吉田 勝明

閉会挨拶 幹事 石川 達也

15 事務長部会

(1) 事務長部会の構成

代表幹事

江原 正恭 社会医療法人社団三思会(東名 厚木病院)理事長室室長

副代表幹事

鈴木 通 湘陽かしわ台病院事務部長

横山 伸泰 鹿島田病院事務局長

中村 洋爾 鈴木病院事務部長

(2019年11月30日退任)

幹事

荒木 洋 古川病院事務局長

武田 朋久 済生会神奈川県病院

事務部長代行

松田 隆 湘南泉病院事務部長

大嶋 一郎 横浜南共済病院事務部長

小林 章利 川崎市立多摩病院事務部長

丘 真樹 丘整形外科病院事務部長

畑 宏明 横須賀共済病院事務部長

神保健志大船中央病院総務部長

(2019年12月1日より就任)

魚瀬由美子 藤沢御所見病院事務局長

平林 智治 平塚共済病院事務部長

鈴木 禎見 東名厚木病院事務長

(2019年4月30日退任)

久木田光司 東名厚木病院事務長

(2019年5月1日より就任)

渕上 雅弘 湯河原胃腸病院事務長

遠藤 玲子 神奈川県立足柄上病院事務局

長(2019年5月31日退任)

荘田 俊夫 神奈川県立足柄上病院事務局

長(2019年6月1日より就任)

予備幹事

石田憲一郎 大口東総合病院事務局長

細谷実知博 たま日吉台病院事務長

海野 幸村 さがみリハビリテーション

病院事務長

野沢 剛 聖ヨゼフ病院事務部長

伊藤 稔 湘南中央病院統括事務部長

田村 一浩 鶴巻温泉病院事務長

平林 広康 近藤病院事務長

鈴木 良昭 小田原循環器病院事務長

(2) 幹事会開催状況

ア 第1回事務長部会・幹事会

日 時 2019年4月10日(水)午後3時

場所県病院協会会議室

出席 12名

議題

- ① 横浜市病院協会、三浦半島病院会地 区幹事の変更について
- ② 2019 年度の事業計画について
- ③ 平成 30 年度事務長部会下半期アン ケート調査について

4)その他

- (ア)第26回日本医療法人協会神奈川 県支部総会後研修会の共催につい て
- (イ) 平成30 年度調査 (定期昇給等調査、医師と看護師のモデル年収調査) の結果について
- (f) 平成 30 年度神奈川県災害医療対策会議報告
- (工)第1回選挙管理委員会報告
- (オ) 神奈川県病床機能転換支援セミナ ーについて

イ 第2回事務長部会・全体幹事会

日 時 2019年5月8日(水)午後3時

場所県病院協会会議室

出席 20名

議題

①厚木病院協会 地区幹事の変更について

- ②2019 年度事業計画について
- ③第1回医業経営セミナーについて
- ④平成30年度下半期アンケート調査

「身元保証人等の状況調査」について

- ⑤医療に関する情報提供について
- ⑥その他
 - (ア)電子会議室 (事務長部会会議室) について

ウ 第3回事務長部会・幹事会

日 時 2019年6月12日(水)午後3時

場 所 県病院協会会議室

出席 10 名

議類

- ①足柄上病院会地区幹事の変更につい て
- ②第1回医業経営セミナーについて
- ③事務長部会上半期アンケート調査について
- ④医療に関する情報提供について
- ⑤その他
 - (ア)神奈川県医療情報セミナー2019 に ついて
 - (イ)2019 年神奈川県病院協会役員選挙管理に関する報告
 - (ウ)神奈川県受託事業「2019 年度 病床機能分化・連携促進事業」の申請及び内示について
 - (エ)第38回神奈川県病院学会について (一般演題募集)
 - (オ)「神奈川県内の身元保証人等の状況」調査結果等について
 - (カ) 2019 年度 第1回医事研究会(ワークショップ)の開催について

エ 第4回事務長部会・幹事会

日 時 2019年7月10日(水)午後3時

場所県病院協会会議室

出席 15名

議題

- ①第1回医業経営セミナーについて
- ②事務長部会上半期アンケート調査 について

- ③医療に関する情報提供について
- 4)その他
 - (ア)役員事業分担及び委員会事業委員 の選任について
 - (4)顧問及び参与の委嘱について
 - (ウ)令和2年度国・県予算の編成に際 しての要望案について
 - (エ) 医療介護総合確保促進法に基づく 神奈川県計画(令和2年度医療分) 〜位置付ける事業のアイデアにつ いて
 - (オ) 共催事業 日本医療法人協会神奈 川県支部主催研修会「安全で良質 な医療の提供を目指して一個別指 導及び適時調査の現状―」につい て
 - (カ)第38回神奈川県病院学会について (一般演題再募集)

才 第5回事務長部会・幹事会

日 時 2019年8月14日(水) 休会

カ 第6回事務長部会・全体幹事会

日 時 2019年9月11日(水)午後3時

場所県病院協会会議室

出席 21名

議題

- ①第1回医業経営セミナーについて
- ②事務長部会上半期アンケート調査に ついて
- ③医療に関する情報提供について
- ④その他
 - (ア)病床機能分化・連携促進事業にかか る実施状況について
 - (4)令和元年度神奈川県医療安全セミナ ーの負担金について (チラシ)
 - (ウ)神奈川県 病床機能転換支援セミナーの共催について
- (エ)第11回地区病院協会長会議の開催について

- (オ)病床機能報告の定量的評価について
- (カ) 県民公開講座「認知症のお話」の開催 について(チラシ)(高齢者医療対策委 員会及び精神保健医療対策委員会 共催事業)
- (4)令和元年度第1回神奈川県保健医療 計画推進会議報告
- (コ)第38回神奈川県病院学会について (チラシ)

キ 第7回事務長部会・幹事会

日 時 2019年10月9日(水)午後3時

場所県病院協会会議室

出 席 13名

議題

- ①第1回医業経営セミナー報告について ケ 第9回事務長部会・幹事会
- ②事務長部会上半期アンケート調査に ついて
- ③医療に関する情報提供について
- 4)その他
 - (ア)公立・公的医療機関等に対する機能 の再検証要請について
 - (4) 令和元年度第2回神奈川県保健医療 計画推進会議報告
 - (ウ)神奈川県病床機能転換支援セミナ 一について
 - (工)第11回地区病院協会長会議(11月 6日)の議題の提案状況について

ク 第8回事務長部会・幹事会

日 時 2019年11月13日(水)午後3時

場所県病院協会会議室

出席 15名

議題

- ①第三者機関による生命保険の照会・請 求代行に関する実証事業に参画いた だく医療機関へのお願い
- ②第2回医業経営セミナーについて
- ③事務長部会上半期アンケート調査に ついて

- ④医療に関する情報提供について
- (5)その他
 - (7) 2019 年度第2回医事研究会の開催 について
 - (イ)公立・公的医療機関等に対する再検 証要請に係る連絡会報告
 - (ウ)第38回神奈川県病院学会開催報告
 - (江)神奈川県医師会主催 医師確保計画 の策定に伴う「医師偏在指標・外来 偏在指標」に係る研修会の開催につ いて
 - (オ)地域医療構想に関する自治体等と の意見交換会 (10/29 開催) につい

日 時 2019年12月11日(水)午後3時

場所県病院協会会議室

出席 14名

議題

- ①第2回医業経営セミナーについて
- ②事務長部会下半期アンケート調査に ついて
- ③医療に関する情報提供について
- 4)その他
 - (7) 2020 年度の総会・理事会等の開催 日程について
 - (イ) 県民集会「国民医療を守るための神 奈川県総決起大会」について
 - (ウ) 生命保険の照会・請求代行に関する 実証事業について
 - (エ)迷惑メールについて

コ 第10回事務長部会・全体幹事会

日 時 2020年1月8日(水)午後4時

場所県病院協会会議室

出席 21名

議類

- ①第2回医業経営セミナーについて
- ②事務長部会下半期アンケート調査につ

いて

- ③医療に関する情報提供について
- 4)その他
 - (ア) 2020 年度の総会・理事会等の開催日 日程について
 - (4)令和元年度新型インフルエンザ等 対策訓練(県主催情報伝達訓練)の 実施について
 - (ウ)第2回地域医療構想調整会議(10月 ~12月)の結果等について
 - (エ)神奈川県病院協会を騙った迷惑メー ルの対処方針について
 - (オ)神奈川県病院協会ホームページの リニューアルについて
 - (カ)病院の入退院調整窓口一覧の公表 に向けた調査について

サ 第11回事務長部会・幹事会

- 日 時 2020年2月13日(水)午後3時
- 場 所 県病院協会会議室
- 出席 15名

議題

- ①第2回医業経営セミナーの内容等に ついて
- ②事務長部会下半期アンケート調査に ついて
- ③医療に関する情報提供について
- 4)その他
 - (ア)第95回総会の開催及び委任状の取扱いについて
 - (イ) 2020 年度の野球大会について
 - (ウ) 神奈川県地域医療講演会の開催について
 - (エ) 令和 2 年度診療報酬改定説明会の開催について
 - (オ) 2019 年度調査の実施について
 - (か) 2019 年度事務長等表彰の被表彰者に ついて
 - (キ)神奈川県医師会 地域医療構想研修 会〜本県にとって必要な調整会議の

シ 第12回事務長部会・幹事会

日 時 2020年3月11日(水) 休会

(3)事業班の構成

情報収集・提供班	研究・調査班	研 修 班
鈴木 通	横山 伸泰	松田隆
(県央)	(川崎南)	(横浜西)
武田 朋久	荒木 洋	神保健志
(横浜北)	(推薦)	(横須賀・三浦)
大嶋 一郎	畑宏明	魚瀬由美子
(横浜南)	(横須賀·三浦)	(湘南東部)
平林 智治	小林 章利	久木田光司
(湘南西部)	(川崎北)	(県央)
荘田 俊夫	丘 真樹	渕上 雅弘
(県西)	(相模原)	(県西)

(4) 事業班の活動

ア 情報収集・提供班

「事務長部会だより」を毎月発行し、事務 長部会の主な議事結果について、会員にお 知らせした。

イ研究・調査班

会員施設の現状を把握し、より有益な情報 を提供することを目的に調査を実施した。

上半期調査

- (ア)内 容 事務当直者について
- (イ) 実施時期 2019 年9月~11月
- (ウ)調査対象 会員286病院
- (エ)回答数 113 (回答率39.5%)

ウ研修班

2019年度第1回医業経営セミナー

日 時 2019年9月27日(金) 午後1時30分

場 所 県総合医療会館 7階大講堂

共 催 日本医業経営コンサルタント 協会神奈川県支部

参加者 121名 内 容

①主催者挨拶

代表幹事 江原 正恭 日本医業経営コンサルタント協会 神奈川県支部長 山田 修

②講演1~働き方改革への最適対応策~ 「100 年企業を目指す、未来型人事労 務管理のススメ」

株式会社ブレイン・サプライ 代表取締役 岡 弘己

③講演2「看護・介護の人材確保〜介護 職員がいなくなる」 淑徳大学総合福祉学部 教授 結城 康博

第2回医業経営セミナー

・2020年2月20日(木) に予定していたが、 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止 のため、中止

16 看護職者賠償責任保険 団体制度の運営

昨今医療過誤事故が多発し、社会的関心が高まるなかで、医事紛争の増加や賠償金額の高額化等の傾向が見られ、病院経営にとって憂慮すべき状況になっている。この傾向のなかで看護職が関与する医療過誤事故において、看護職が病院、医師とともに連帯責任を問われるケースが増加すると予想されたため、平成12年から保険料が割引される団体制度を発足させ、当協会会員病院(横浜市病院協会の実施する保険加入病院を除く)を対象として、保険への加入を希望する看護職の負担軽減を図っている。

2019年12月31日現在の加入状況は次のとおりである。

加入病院数 113 病院

加入者数 6,696 人

(看護師・介護支援師 6,530 人、保健師 24 人、 助産師 142 人)

※会員病院に勤務する看護師・准看護師・保健 師・助産師・介護支援師

保険期間 1年間(1月1日~12月31日) 引受会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社